

相互運用 g サーバー

基本設計書

Ver 2.3.1

2015/10/01

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

変更履歴

Version	変更日付	変更内容
1.0	2009/07/09	初版作成
1.1	2011/09/27	相互運用 g サーバの機能拡張業務の変更を反映
1.2	2012/03/08	SVG 地図データおよび、KML データ配信機能追加のための支援作業の変更を反映
1.3	2013/03/10	e コミマップおよび相互運用 g サーバの時系列データ配信・閲覧のための機能追加支援作業
1.4	2013/07/10	相互運用 g サーバの地図一覧画面機能高度化の支援作業
1.5	2014/10/31	相互運用 g サーバの Sensor Observation Service 機能追加支援作業
1.6	2015/10/01	クリアリングハウスのログインユーザ設定機能追加

目次

1	概要.....	1
2	システム構成.....	1
2.1	システム構成図.....	1
2.2	システム構成.....	2
3	機能設計.....	3
3.1	ユーザ管理およびログイン機能.....	3
3.2	データアップロード機能.....	3
3.3	マップ配信および凡例出力機能.....	5
3.4	マップ管理機能.....	5
3.5	レイヤー管理機能.....	7
3.6	SLD 編集機能.....	8
3.7	メタデータの編集機能.....	9
3.8	データ登録から配信までの画面遷移.....	10
3.9	地理情報配信機能.....	10
3.9.1	配信最適化機能.....	10
3.9.2	配信追加機能.....	11
3.9.3	クリアリングハウス連携機能.....	11
3.9.4	配信内容管理機能.....	11
4	画面仕様.....	13
4.1	画面遷移.....	13
4.2	マップ一覧画面.....	14
4.3	マップ新規作成（図の差し替え）.....	15
4.4	カテゴリ管理.....	17
4.5	ベクトルマップ管理画面.....	19
4.6	ラスターマップ管理画面.....	24
4.7	WCS マップ管理画面.....	26
4.8	KML マップ管理画面.....	27
4.9	SVG マップ管理画面.....	28
4.10	時系列マップ管理.....	29
4.11	SOS マップ管理.....	31
4.12	アイコン管理.....	35
4.13	共有設定.....	36
4.14	ベクトルレイヤー管理画面.....	37

4.15	ベクトルスタイル管理画面.....	42
4.16	WCS スタイル管理画面.....	46
4.17	KML レイヤー編集画面.....	49
4.18	SVG レイヤー編集画面.....	50
4.19	時系列レイヤー編集画面.....	51
4.20	時系列レイヤーデータ一覧画面.....	52
4.21	時系列レイヤー定期取得設定編集画面.....	53
4.22	時系列スタイル設定画面.....	54
4.23	SOS レイヤー管理画面.....	56
4.24	SOS スタイル設定画面.....	57
4.25	ユーザ選択マップ.....	59
4.26	設定画面.....	62
4.27	ユーザ設定.....	63
4.28	問い合わせ先設定.....	66
4.29	タイトル設定.....	68
4.30	背景地図設定.....	68
4.31	クリアリングハウス設定.....	70
4.32	マップ情報一覧画面.....	71
4.33	プレビュー一覧画面.....	72
5	ファイル仕様.....	75
5.1	ベクトル形式データレイヤー情報ファイル.....	75
5.2	ラスター形式データ設定ファイル仕様.....	75
5.3	ラスター画像データファイル仕様.....	75
5.4	ラスター画像位置情報データ仕様.....	75
5.5	メッシュ形式データレイヤー情報ファイル.....	75
5.6	KML データ仕様.....	75
5.7	SVG データ仕様.....	75
5.8	時系列データ仕様.....	76
5.9	時系列情報データファイル仕様.....	76
5.10	SOS データ仕様.....	76
5.11	GetCapabilities リクエスト応答情報仕様.....	76
5.12	メタデータファイル仕様.....	76
5.13	地図プレビュー画像ファイル仕様.....	76
5.14	描画情報ファイル仕様.....	77
6	データベース仕様.....	78
6.1	ベクトル形式データ格納 DB.....	78

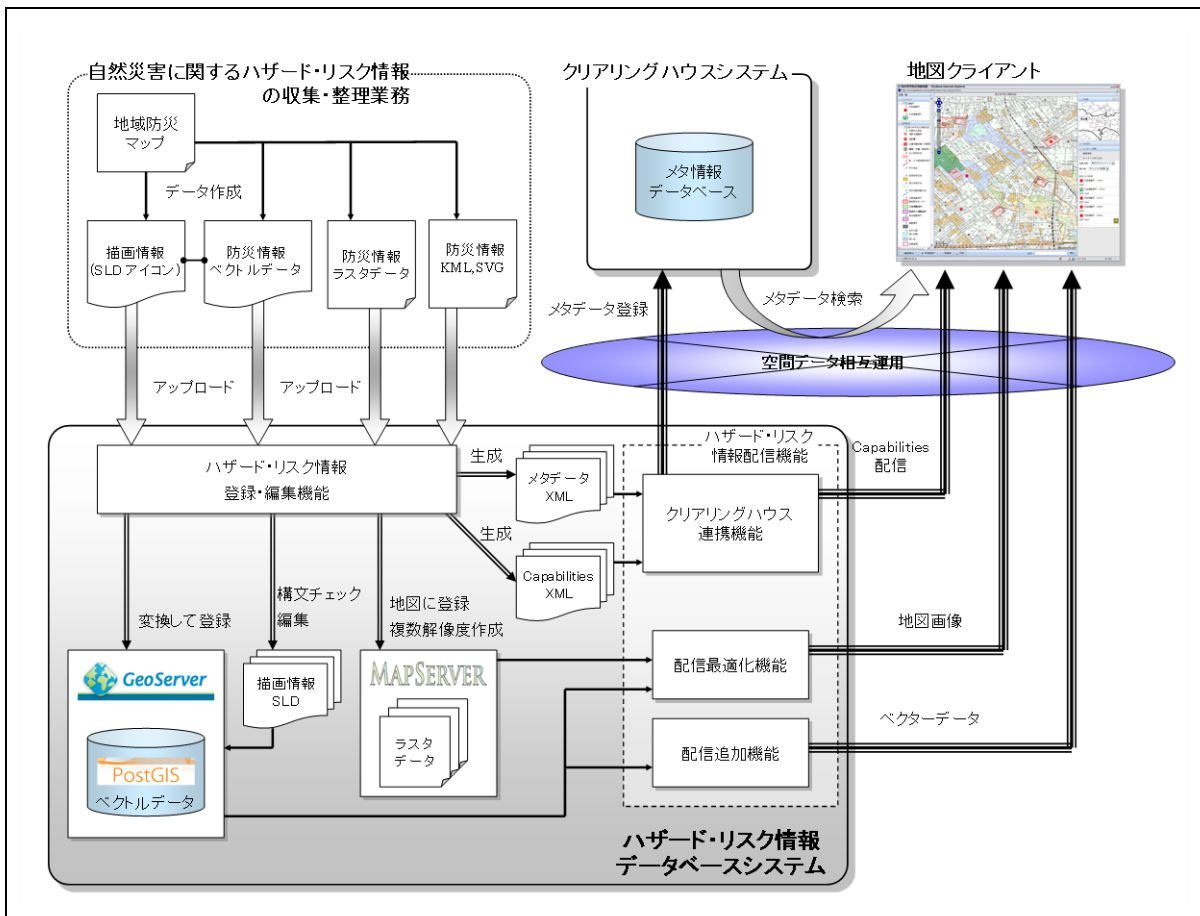
6.2	相互運用 g サーバ管理 DB	78
-----	-----------------------	----

1 概要

本基本設計書は、相互運用gサーバの基本仕様を示すものであり、業務における改修内容を反映させた基本設計書になっている。

2 システム構成

2.1 システム構成図



2.2 システム構成

本システムは、地理情報の登録や管理を行うとともに、登録されたデータを分散相互運用環境 Web-GIS 配信するためのシステムであり、「地図情報登録・管理機能」と、「地図情報配信機能」の 2 つの機能から構成される。

情報の登録や管理を行う機能である「地図情報登録・管理機能」は、用意されたベクトル形式ラスター形式の地図情報の登録や管理を行う。KML,SVG の地図情報は定期的にデータの更新を行い配信する。時系列情報を持ったラスター画像を定期的を取得して時系列データを配信する。

分散相互運用環境 Web-GIS 配信するための機能である「地図情報配信機能」は、登録された地図情報を「災害リスク情報クリアリングハウスシステムの開発業務」で作成されたクリアリングハウスサーバに登録するとともに、地図クライアントから要求されたデータの配信を行う。

3 機能設計

3.1 ユーザ管理およびログイン機能

1) ログイン

相互運用 g サーバにユーザごとにログインを行い、相互運用 g サーバの編集管理を行う。ログイン後はマップ一覧管理画面へ移動する。

2) マップ制御

マップの管理、編集はそのマップを作成したユーザと管理者権限を持ったユーザのみが行える。マップをほかの編集者権限を持ったユーザに公開することで、公開されたユーザはマップの基本情報、メタデータの観覧、マップ共有設定が行える。

3) 権限

管理者権限と、編集者権限を設定する。管理者権限は相互運用 g サーバのサーバ設定、すべてのマップを管理編集する。編集者権限はその権限をもったユーザが作成したマップの管理、編集と公開されたマップの観覧を行う。

4) ユーザ管理

相互運用 g サーバのユーザを管理するページを実装する。ユーザの追加、更新、削除を行う。

3.2 データアップロード機能

1) ブラウザからのアップロード

ブラウザのファイルアップロード機能を利用し、PC から選択されたベクトル形式、ラスター形式の地図データ。SVG 地図データ。KML データ。地図のスタイル設定、メタデータを相互運用 g サーバに登録する。

2) FTP アップロード

FTP および、SCP による指定されたアップロード先へデータファイルのアップロードを可能にし、相互運用 g サーバでアップロードされたデータファイルを選択して登録できる。

ベクトルデータ、ラスターデータのアップロードを可能にする。

3) URL 指定登録

KML データ、SVG 地図データおよび SOS(Sensor Observation Service)データは、アクセス可能な URL を指定することで登録できる。

4) ディレクトリ登録

時系列データはローカルの指定フォルダ内にデータを配置することで登録できる。

5) FTP 登録

時系列データはパッシブモードで接続可能な FTP サーバにデータを配置することで登録できる。

6) 登録時のジオメトリチェック

ベクトル形式のデータをアップロードする際、シェープファイルの登録情報に含まれる GIS 適に不正なジオメトリのチェックを行い、エラーが含まれる場合はそのジオメトリの修正作業を行う。相互運用 g サーバで正常に表示されるようにする。

7) 進捗状況の表示

データのアップロードなど時間を要するプロセスが実行されている際に、進捗状況を表示し視覚的に作業中であることをわかるようにする。

8) アップロードのエラー表示

データのアップロードなどのプロセスが実行されている際に、エラーが発生した際にエラーの詳細をわかりやすく表示する。

9) WCS データの登録

WCS に対応したメッシュ形式の GeoTiff、地図情報を持った画像をアップロードし、SLD によるスタイル設定を行うことで、WMS、WCS に対応した配信を行うことができる。

10) タイル状航空写真の登録

タイル状に用意された複数の画像データを一括でアップロードし、一つのラスターレイヤーとして登録することを可能とする。

11) KML データの登録

OGC 規格の KML をアップロード、もしくはダウンロードできる URL を指定し登録する。地図画像、地図情報の配信を可能とする。

12) SVG 地図データの登録

Scalable Vector Graphics(SVG)のアップロード、もしくはダウンロードできる URL を指定し登録する。地図画像、地図情報の配信を可能とする。

13) 時系列データの登録

ISO8601 形式で設定された日時情報を持つラスターデータを、時系列情報と共に登録する事で、時系列データの配信を可能にする。

14) SOS データの登録

SOS サイトの URL を登録することで、SOS データの配信を可能にする。

3.3 マップ配信および凡例出力機能

1) 地図配信機能

Web ブラウザや OGC 等国际標準動向に準拠したデータ提供要求を、ネットワークを介して受けつけ、データベースに登録されている地理情報を、汎用的な空間データ形式で配信する。

2) WMS,WFS,WCS をレイヤー毎に指定

レイヤー毎に WMS,WFS,WCS で配信するかどうか設定できる。マップ内に配信可能なレイヤーがある場合、配信可能なレイヤーを **Capabilities** に出力を行うかどうか設定する。

3) 地図単位の KML 出力

マップ内のレイヤー毎に KML、KMZ の出力を行い、KML に対応した外部アプリケーションで利用できるようにする。

4) 凡例出力

レイヤー毎に運用 g サーバで任意の凡例画像を指定できる。動的に生成される凡例画像とは別に、凡例をアップロードしたものを凡例に設定できる。

5) WCS 凡例出力

WCS の出力凡例を調節し、不要な情報の削除、表示サイズの調整を行って凡例の配信を行うことを可能にする。

3.4 マップ管理機能

1) マップ一覧管理

相互運用 g サーバに登録されているマップの一覧を表示します。マップの絞り込み、並び替え、検索を行い一覧画面に反映します。マップの新規登録、マップ削除を行います。

2) マップ新規作成

相互運用 g サーバに新たにマップを作成します。データを登録することで、レイヤー登録を行うデータ登録型マップ、登録されているマップに含まれるレイヤーを引用するユーザ選択型マップの作成を可能にします。

3) マップ削除

不要になったマップの削除を可能にします。含まれるデータのすべてを削除します。

4) マップ情報管理

レイヤーを管理するマップのタイトル、説明の基本情報、マップの地理的範囲、表示範囲の設定を可能にします。

5) アップロード管理

アップロードを行い、進捗状況、登録状況の確認を可能にします。

6) ダウンロード

ベクトルマップに登録されているレイヤーのフィーチャー、スタイル設定、メタデータ、アイコン画像を一括でダウンロードできる。

7) メタデータ管理

マップのメタデータの作成、編集、クリアリングハウスへの登録を可能にします。

8) 出力確認

相互運用 g サーバに登録したマップの出力可能な形式の一覧を表示します。出力の確認、問い合わせの確認を可能にします。

9) アイコンの一元管理

マップに登録されているレイヤーのスタイル設定に利用するアイコン画像、テキスト画像の管理を可能にします。画像のアップロード、ほかのマップから引用を行います。

10) レイヤーを組み合わせて新規マップ管理

相互運用 g サーバに登録されているベクトルマップ、WCS マップからレイヤーを引用することで、一元的に表示を行うマップを作成します。元となるレイヤーを複製するのではなく共有することで、参照を行います。

11) マップ一覧並び替え表示

マップ一覧画面に表示されるマップ一覧は配信可能なマップ (WMS,WCS,WFS,KML,SVG,時

系列,SOS,選択マップ)、名前順、地図ID順、マップ作成日、マップ更新日、カテゴリ順に並び替えを可能にします。

12) マップ一覧カテゴリグループ化

カテゴリを作成しマップをカテゴリに登録することで、マップ一覧のカテゴリ分け表示を可能にする。

13) マップ観覧制限と共有

マップの観覧制限と共有設定をおこなう。管理画面で編集権限を持ったユーザごとに共有、共有しないを設定し、共有しない設定の場合は参照できないようにする。

14) レイヤー引用機能

共有設定が行われたマップは他のユーザのマップでレイヤーを引用できるようにする。

15) クリアリングハウス経由のマップ観覧

非公開のマップでもクリアリングハウス経由では表示できるようにする。

16) 公開中マップ一覧

公開しているマップのリストが表示できる外部公開用HTMLが生成できる。

3.5 レイヤー管理機能

1) レイヤー一覧 形状の凡例表示

レイヤー管理画面で表示されるレイヤー一覧では、ジオメトリの形状をアイコンで表示して一覧で確認できる。

2) レイヤーの基本情報

レイヤーのタイトル、説明の設定、表示範囲の表示を行う。

3) レイヤー単位のデータダウンロード

ベクトルレイヤーのフィーチャー、スタイル設定、メタデータ、アイコン画像をレイヤー毎にダウンロードできる。

4) データダウンロード Shape の SJIS 化

ベクトルデータのダウンロードの際に生成されるシェープファイルのデータ及び、テーブルはSJISによって出力できる。

5) WMS getFeatureInfo 出力属性制御

ベクトルデータの GetFeatureInfo リクエストの際、出力される属性の変更ができる。

6) KML データ,SVG 地図データ更新機能

KML データ、SVG 地図データの更新、キャッシュの作成を行える。更新設定を行える。

7) 時系列データ更新機能

時系列データの参照を定期的に行い、更新を行える。

8) SOS データ更新機能

SOS データの参照を定期的に行い、更新を行える。

9) ベクトルデータの編集機能

ベクトルレイヤーのデータに対して、データの追加（マージ）、差し換え、レイヤーの再登録を行える。

10) ベクトルデータの時系列設定

ベクトルレイヤーに時系列属性が含まれる場合、ベクトルレイヤーを時系列レイヤーとして登録を行える。

11) 著作権情報出力

レイヤー毎に著作権情報を Capabilities に出力できる。

3.6 SLD 編集機能

1) SLD エディタ

ブラウザ上のフォームから入力をしてすることで、Styted Layer Descriptor(以下 SLD)の設定を行う。ベクトルデータ、メッシュデータの WMS による出力時の描画を設定可能です。

2) SLD エディタ 自動描画（ベクター）

ベクトルデータの設定画面では、属性情報から数値分類、カテゴリ分類、コロプレスマップによる描画設定を行います。

3) SLD エディタ 自動描画（メッシュ）

メッシュデータの設定画面では、メッシュ値による数値分類による描画設定を行います。

4) SLD 一括変更

マップ内のスタイル設定の変更を行います。ラベル、アイコンの一括変更を可能にします。

5) SLD エディタ 凡例プレビュー

編集したスタイル設定に応じた凡例画像のプレビューが表示されます。

6) SLD エディタ 凡例アップロード

SLD から生成される凡例画像とは別に、ユーザによりアップロードされた画像を凡例に設定できます。

7) SLD エディタ 縮尺制限

マップ毎に配信を制限する縮尺の範囲が設定できる。スタイル設定の際に縮尺の目安として表示されます。

8) SLD エディタ アイコンサイズ自動調整

縮尺に応じてアイコンのサイズを自動的に調整される。

9) プレビューでの背景地図重ね合わせ

マップやレイヤーのプレビュー表示時に、背景に基盤地図や数値地図のWMS と重ね合わせることができる。

3.7 メタデータの編集機能

1) メタデータ編集

マップとレイヤー毎にメタデータを作成できます。メタデータが作成された時点での四隅の範囲、サムネイル画像が入力されます。

生成されるメタデータは、JMP2.0 に準拠した仕様で記述を行う。

JMP2.0 の仕様については、「JMP2.0 解説書.pfd」を参照。

2) プレビュー画像の生成

メタデータの生成と合わせて、地理情報を地図上に表示したプレビュー画像を生成しサーバ内のファイルを作成する。

3) プレビュー画像のアップロード

画像データをアップロードすることで、プレビュー画像を任意の画像に差し換える事ができる。

4) メタデータ編集 画面改修

メタデータ画面を調整し、公開するための最低限の設定が表示される簡易設定とすべてのメタデータを設定できる詳細設定画面を表示できる。

5) クリアリングハウス 拡張スキーマ対応

防災科研が開発しているクリアリングハウスの使用に準拠した拡張メタデータに対応し、WFS,WCS の情報を設定した拡張メタデータの作成をおこない、クリアリングハウスにメタデータを登録できる。

6) メタデータ編集 引用

メタデータ編集画面において、問い合わせ先、責任者情報をあらかじめ登録した問い合わせ先一覧から引用することができる。

7) WMSCapabilities に縮尺情報追加

想定以上の拡大表示となる縮尺の情報を、WMSCapabilities に設定しクリアリングハウスに反映できる。

8) WMSCapabilities に時系列情報追加

登録された時系列の範囲を設定できる。

3.8 データ登録から配信までの画面遷移

1) データ登録画面遷移調整

データ登録から配信まで一連の流れで操作できる画面遷移を行う。

3.9 地理情報配信機能

Web ブラウザや OGC 等国际標準動向に準拠したデータ提供要求を、ネットワークを介して受けつけ、データベースに登録されている地理情報を、汎用的な空間データ形式で配信するための機能である。

3.9.1 配信最適化機能

配信最適化機能では、登録された地理情報を、標準的なタイル形状で分割された複数解像度のキャッシュ画像を作成することにより、OpenLayers や GoogleMap 等からの地図画像リクエストの処理速度を最適化することができる。

最適化のために作成されたキャッシュ画像は、サーバ内にファイルとして保存される。

キャッシュ画像は、リクエストがあった場合に随時作成を行うことが可能であるが、Web ブラ

ウザからの設定で一括で作成することも可能とする。

3.9.2 配信追加機能

GeoServer 用に作成されたプラグインを追加することで、出力可能なデータ形式を増やすことが可能である。

現在出力可能なデータ形式を以下に示す。

- GeoRSS 出力
- GML 出力
- KML 出力
- PDF 出力
- SVG 出力

配信可能なデータを取得するための URL は、「4.5 マップ管理画面」に表示される。

3.9.3 クリアリングハウス連携機能

登録された地理情報のメタデータを設定し、クリアリングハウスサーバへ登録することで、空間データの相互運用技術による地図の配信を行うことを可能にするための機能である。

- クリアリングハウスサーバへの登録・更新

クリアリングハウスサーバへのメタデータの登録は、クリアリングハウスの登録インタフェースに合わせた形でデータの送信を行う。（「クリアリングハウス連携仕様」を参照）

クリアリングハウスサーバへのメタデータの登録は、地図単位で行い、地図一覧で「クリアリングハウス登録」ボタンを押した時点で、地図の **GetCapabilities** リクエストとメタデータが参照可能な URL の情報を付与したメタデータ登録リクエストを、クリアリングハウスサーバへ送信する。

- クリアリングハウスサーバからの削除

相互運用 g サーバから地図が削除された場合は、自動的に削除された地図のメタデータ削除要求を、クリアリングハウスサーバへ送信する。

クリアリングハウスサーバへのメタデータの削除は、クリアリングハウスの削除インタフェースに合わせた形でデータの送信を行う。（「クリアリングハウス連携仕様」を参照）

3.9.4 配信内容管理機能

相互運用 g サーバの配信内容の管理は、GeoServer の認証システムを設定することで行う。

配信用管理機能では地図配信および編集権限の設定を可能にする。

設定可能な権限を以下に示す。

権限名称	権限 ID	内容
管理者	ROLE_ADMINISTRATOR	管理画面を表示することができる
WMS 読み込み	ROLE_WMS_READ	地図画像を読み込むことができる
WFS 読み込み	ROLE_WFS_READ	地図の Feature (形状+属性) のデータを読み込むことができる
WFS 書き込み	ROLE_WFS_WRITE	地図の Feature (形状+属性) のデータの追加、更新、削除を行うことができる

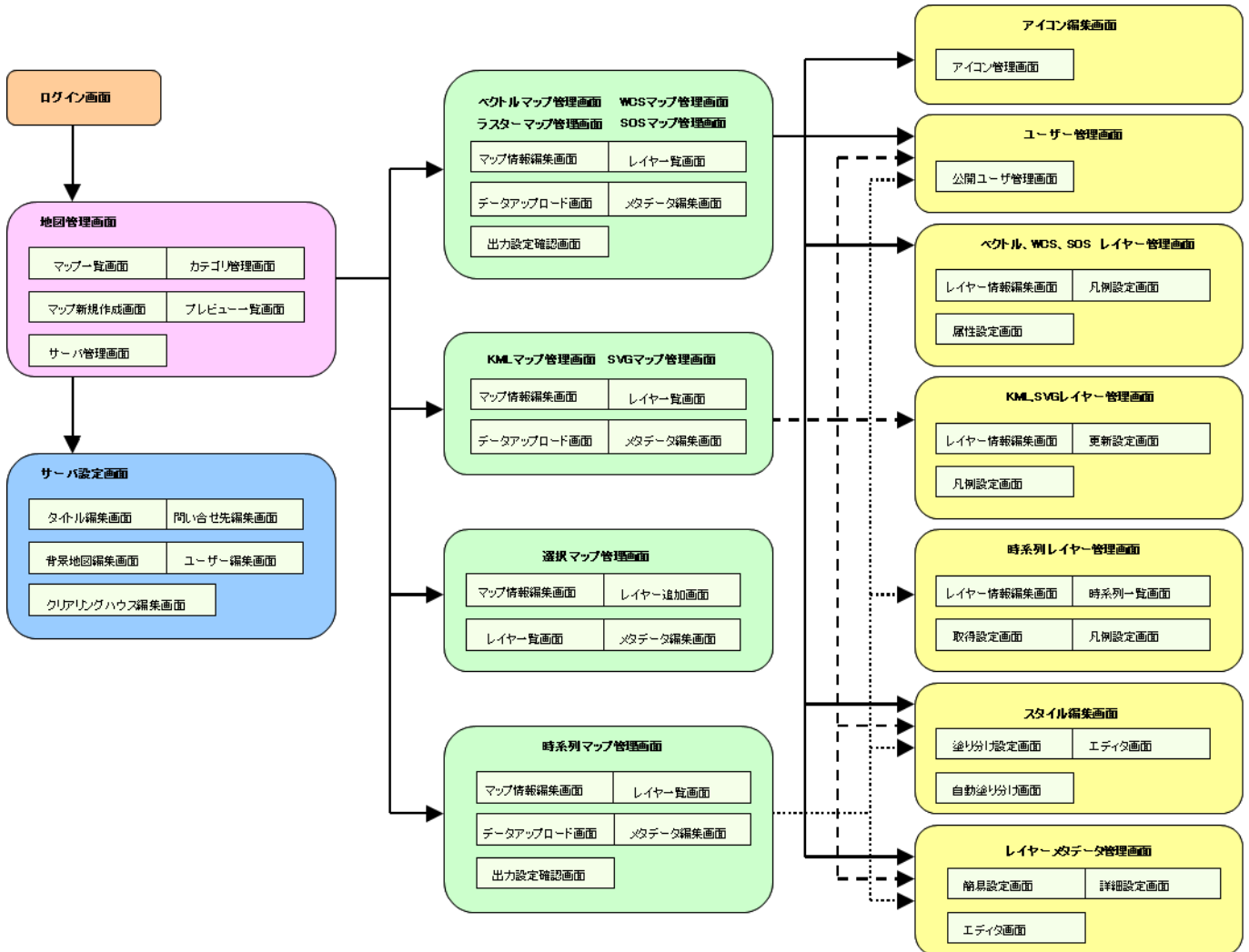
設定ファイルのサンプル

```
admin=password, ROLE_ADMINISTRATOR, ROLE_WMS_READ, ROLE_WFS_READ, ROLE_WFS_WRITE
user=userpassword, ROLE_WMS_READ, ROLE_WFS_READ
wfst=wfstpassword, ROLE_WMS_READ, ROLE_WFS_READ, ROLE_WFS_WRITE
```

4 画面仕様

4.1 画面遷移

運用 g サーバの各画面は、ログイン画面からログイン後、マップ管理画面へ移動し、各管理画面へ移動する。



4.2 マップ一覧画面

相互運用 g サーバに登録されている地図の一覧の表示と、新規地図の追加を行うための画面です。

The screenshot shows the '相互運用サーバ' (Interoperable Server) map management interface. The main area displays a table of registered maps with columns for map name, type, status, and update date. The left sidebar contains navigation options like 'マップ一覧' (Map List), 'WCS', 'KML', 'SVG', '特別型', 'SOS', '登録マップ', 'マップ新規作成', 'カテゴリ一覧', 'vector', 'WCS2', 'その他', 'test1', '新規', 'カテゴリ新規作成', 'カテゴリ管理', 'プレビュー', and 'プレビュー一覧'. Callouts provide instructions for various actions: searching for registered maps, moving to the g-server settings page, displaying map types, moving to the new map creation screen, displaying maps by category, changing the sort order of the map list, displaying map previews, editing registered maps, and deleting registered maps.

名前	型	編集	更新日	プレビュー	削除
test1	test1	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test2	test2	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test3	test3	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test4	test4	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test5	test5	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test6	test6	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
test7	test7	編集	2012年 01月 01日	表示	削除
vector2	vector	編集	2013年 01月 17日	表示	削除
raster	raster1	編集	2013年 02月 20日	表示	削除
vector	vector1	編集	2013年 02月 20日	表示	削除
vector3	vector	編集	2013年 03月 05日	表示	削除
testraster	testraster	編集	2013年 03月 05日	表示	削除
usersselect	usersselect	編集	2013年 03月 05日	表示	削除
test1	test1	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
testuser	testuser	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
kml1	kml1	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
user1	user1	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
user2	user2	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
user3	user3	編集	2013年 03月 12日	表示	削除
user4	user4	編集	2013年 03月 12日	表示	削除

4.3 マップ新規作成

1) 新規マップ作成選択

データ登録マップの作成

データをアップロードしレイヤを作成する事で、地図を作成します。
ベクトルデータ、ラスターデータにそれぞれ対応したマップを作成します。

データ登録マップ新規作成画面へ移動。

ユーザ選択マップの作成

公開されているマップから登録済みのレイヤを引用し地図を作成します。
このマップではデータを登録する事は出来ません。ベクターマップ、WCSマップからのみ地図を引用できます。

ユーザ選択マップ新規作成画面に移動する。

2) データ登録型マップ新規作成

マップ新規作成

マップ選択:	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ベクターマップ ベクトルデータをWMS,WFSで配信するマップを作成します。<input type="radio"/> ラスターマップ 画像データをWMSで配信するマップを作成します。<input type="radio"/> WCSマップ 画像データをWMS,WCSで配信するマップを作成します。<input type="radio"/> KMLマップ KMLデータをWMS配信するマップを作成します。<input type="radio"/> SVGマップ SVGデータをWMS配信するマップを作成します。<input type="radio"/> 時系列マップ 時系列データをWMS,WCSで配信するマップを作成します。<input type="radio"/> SOSマップ SOS(Sensor Observation Service)データをWMS, WFSで配信するマップを作成します。 <p><small>*必ずいずれかのマップを選択して下さい。</small></p>	<p>作成するマップタイプを指定します。</p> <p>アップロードします。</p> <p>データをアップロードします。</p>
地図ID:	<input type="text"/>	新規マップIDを記入します。
タイトル:	<input type="text"/>	新規マップのタイトルを記入します。
<input type="button" value="新規マップ作成"/>	新規マップを作成しマップ管理画面へ移動します。	

3) ユーザ選択マップ新規作成

ユーザ選択マップを作成します。

ベクターマップ、WCSマップに登録されているレイヤを引用し、まとめて表示するマップを作成します。

マップ新規作成	
地図ID:	<input type="text"/> <small>英数小文字で記入して下さい。</small>
タイトル:	<input type="text"/> <small>地図の名称を記入して下さい。</small>
<input type="button" value="新規マップ作成"/>	

新規マップIDを記入します。

新規マップのタイトルを記入します。

新規マップを作成しマップ管理画面へ移動します。

4.4 カテゴリ管理

1) カテゴリの新規作成

カテゴリの新規作成

カテゴリ名	<input type="text"/>	作成するカテゴリ名を記入します。
説明	<input type="text"/>	カテゴリの説明を記入します。
<input type="button" value="新規作成"/>	カテゴリを新規作成します。	

2) カテゴリ一覧

カテゴリ名	説明	編集	更新日時	削除
test1	test1	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test4	test4	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test6	test6	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test7	test7	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test8	test8	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test9	test9	編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
cat1a	カテゴリの説明ですよ	編集	2010年 10月27日	<input type="button" value="削除"/>
atest	atestd	編集	2010年 10月28日	<input type="button" value="削除"/>
test5	test5a	編集	2010年 10月28日	<input type="button" value="削除"/>

3) カテゴリ編集

カテゴリ名称	<input type="text" value="test1"/>	変更後のカテゴリ名を記入します。
説明	<input type="text" value="test1"/>	変更後のカテゴリの説明を記入します。
<input type="button" value="保存"/>	変更を保存します。	

4) カテゴリにマップ追加

チェックボックスを選択したマップを操作します。
 「追加」カテゴリに追加
 「削除」カテゴリから登録解除
 「全削除」カテゴリのマップを全て登録解除

先頭	《前へ	次へ》	最後	1-9 / 9件		
	マップID▼	タイトル		プレビュー		
<input type="checkbox"/>	w1	w1			表示	
<input type="checkbox"/>	user2	ユーザテスト2			表示	
<input type="checkbox"/>	teststras	teststras			表示	
<input type="checkbox"/>	test9	test9			表示	
<input type="checkbox"/>	test8	test8			表示	
<input type="checkbox"/>	test7	tset			表示	
<input type="checkbox"/>	test51	test51			表示	
<input type="checkbox"/>	test50	test550			表示	
<input type="checkbox"/>	test5	test5			表示	

カテゴリに登録されているマップの一覧を表示します。

先頭	《前へ	次へ》	最後	1-20 / 57件		
	マップID▼	タイトル		プレビュー		
<input type="checkbox"/>	wmstest	wmstest1aaaa			表示	
<input type="checkbox"/>	wctest	wctest			表示	
<input type="checkbox"/>	vecmap	vecMap			表示	
<input type="checkbox"/>	user3	ユーザテスト3			表示	
<input type="checkbox"/>	user1	ユーザテスト1			表示	
<input type="checkbox"/>	testwcs	testwcs			表示	
<input type="checkbox"/>	test49	test49			表示	
<input type="checkbox"/>	test48	test48			表示	
<input type="checkbox"/>	test47	test47			表示	
<input type="checkbox"/>	test46	test46			表示	
<input type="checkbox"/>	test45	test45			表示	
<input type="checkbox"/>	test44	test44			表示	
<input type="checkbox"/>	test43	test43			表示	
<input type="checkbox"/>	test42	test42			表示	
<input type="checkbox"/>	test41	ret			表示	
<input type="checkbox"/>	test40	test40			表示	
<input type="checkbox"/>	test4	test4			表示	
<input type="checkbox"/>	test39	test39			表示	
<input type="checkbox"/>	test38	test38			表示	
<input type="checkbox"/>	test37	test37			表示	

←追加
 削除→
 全削除

カテゴリに登録できるマップの一覧が表示されます。

マップのプレビューが表示されます。

4.5 ベクトルマップ管理画面

相互運用サーバ

名前: アドミン 設定 ヘルプ ログアウト

地図管理

- マップ一覧
- ベクタ
- ラスタ
- WCS
- KML
- SVG
- 時系列
- 選択マップ
- マップ新規作成
- カテゴリ一覧
 - vector
 - ラスタ
 - その他
 - test1
 - 新規
- カテゴリ新規作成
- カテゴリ管理
- プレビュー
 - プレビュー一覧

マップ設定画面

[<<マップ一覧に戻る](#)

マップタイトル	test1
WMS Capabilities	http://server.domain.com/gserver/wmscapabilities?id=test1
WFS Capabilities	http://server.domain.com/gserver/wfscapabilities?id=test1

基本情報設定 アップロード レイヤー編集 メタデータ 出力形式一覧

マップ詳細情報

ID	
タイトル	
説明	
キーワード	
範囲	MinX: 136.496535 MinY: 34.6714 MaxX: 139.488118 MaxY: 35.7047 範囲取得

更新 リセット

アイコン管理

表示設定に利用するアイコンの登録、コピー、削除を行い管理します。

アイコン管理

マップ共有設定

他のユーザとのマップの共有設定を行います。

マップ共有設定

ベクトルマップのタイトル、マップの Capabilities 取得 URL を表示します。

ベクトルマップを操作する画面を切り換えます。

ベクトルマップの操作画面が表示されます。「基本情報設定」「レイヤー編集」「アップロード」「メタデータ」「出力形式一覧」

1) マップ詳細編集

マップ詳細情報編集

ID	vector
タイトル <small>必須</small>	vector1
説明	
キーワード	
範囲	MinX: 136.496535 MinY: 34.671421 MaxX: 139.488118 MaxY: 35.704728 範囲取得

ベクトルマップのタイトル、説明、キーワードを表示します。

ベクトルマップの表示範囲を設定します。

マップの情報を記述に従って更新します。

2) レイヤー編集

基本情報設定 | アップロード | レイヤー編集

vector3_4は引用元のマップvector1(作成ユーザー:ア
通知を削除する

マップに登録されている全てのレイヤーのダウンロード、プレビュー表示を行います。

レイヤー一覧

ID	名前	編集	スタイル	メタデータ	プレビュー	ダウンロード	公開設定	削除
vector_1		編集	設定		表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_3	point_sample3	編集	設定		表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_4	point_sample3	編集	設定		表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_5		編集	設定	編集	表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_13	tameike1891	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_14	tameike1891	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector_16	point_sample3	編集	設定		表示	ダウンロード	公開 非公開	削除
vector3_10	polygon_sample1 (引用元マップ:vector 作成ユーザー:ADMIN)				表示	表示	公開 非公開	削除
vector3_8	point_sample2 (引用元マップ:vector 作成ユーザー:ADMIN)				表示	表示	公開 非公開	削除

選択したレイヤーを並び替えます。

レイヤーの編集、スタイル編集、メタデータの作成を行います。

登録されているレイヤーのジオメトリ型をアイコンで表示します。

ベクトルマップのタイトル、説明、キーワードを表示します。

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するか設定します。

共有マップからレイヤー引用

公開されているマップからレイヤーを引用する。

公開マップ一覧: アドミン vector

レイヤー一覧: line_sample1

選択レイヤー引用

共有されたマップからレイヤーの引用を行います。

3) データアップロード

新規レイヤ追加

データ登録

- ベクトルデータをアップロードし、レイヤを登録します。
- ※シェープファイルは「shp」「shx」「dbf」の3つを、zipファイルに圧縮してアップロードして下さい。
- ※複数のシェープファイルを一つのzipファイルに圧縮してアップロードして登録できます。
- ※日本測地系データのアップロードは、登録するベクトルデータの座標系を設定します。

座標系選択	EPSG: <input type="text"/>	座標系表示
	※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326	
ファイル選択	<input type="text"/>	参照...
	アップロード	

選択されたファイルを送信しレイヤを登録します。

アップロードするファイルを選択します。

- サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。
- ※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。
- ※座標系はEPSGコードを記入して下さい。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	座標系表示
	EPSG:4326
ファイル選択	s_raster.zip
	登録

あらかじめアップロードされているファイルを選択します。

選択されたファイルをレイヤ登録します。

4) メタデータ

基本情報設定 | レイヤー編集 | アップロード | **メタデータ** | 出力形式一覧

メタデータ更新 | クリアリングハウス登録 | クリアリングハウスから削除

配布情報

Capabilities詳細情報

配布書式

データ形式 WMS
バージョン 1.1.1

オンライン

リンク
記述 WMS
符号 JGD2000(B,L)
リンク
記述 WFS
符号 JGD2000(B,L)

メタデータを記述に従って更新します。

メタデータをクリアリングハウスへ登録、登録の解除を行います。

メタデータの内容をフォームに従って記述します。

メタデータ情報

メタデータ詳細

ファイル識別子
言語 日本語
文字集合 utf8
親識別子
日付(メタデータ作成日)
メタデータ規格の名称 JMP
メタデータ規格の版 2.0

5) 出力形式一覧

基本情報設定 | レイヤー編集 | アップロード | メタデータ | **出力形式一覧**

出力形式確認

ID	名称	WMS	KML	KMZ	GeoRSS	PDF	GML	SVG
test8_19	hujisawa_hinan	WMS	KML	KMZ	GeoRSS	PDF	GML	SVG

確認するレイヤーのジオメトリ型をアイコンで表示します。

出力確認を行う形式を選択して確認フォームを表示します。

4.6 ラスターマップ管理画面

1) マップ基本情報

マップ詳細情報編集

ID	raster
タイトル <small>必須</small>	raster5
説明	raster3
キーワード	test4
表示縮尺	大縮尺: 1/ <input type="text" value="設定無し"/> 小縮尺: 1/ <input type="text" value="設定無し"/>
範囲	MinX: <input type="text" value="131.064667"/> MinY: <input type="text" value="33.622171"/> MaxX: <input type="text" value="131.086237"/> MaxY: <input type="text" value="33.635683"/>

ラスターマップのタイトル、説明、キーワードを記述します。

ラスターマップの表示縮尺を設定します。

ラスターマップの四隅の範囲を表示します。

記述された内容に従い更新を行います。

2) レイヤー編集

基本情報設定 | **レイヤー編集** | アップロード | メタデータ | 出力形式一覧

レイヤー一覧

id	レイヤ名	プレビュー	削除
raster	raster5	<input type="button" value="プレビュー"/>	<input type="button" value="削除"/>

ラスターレイヤーを削除します。

ラスターマップは一つのレイヤーしか登録できません。

ラスターマップのプレビューを表示します。

3) アップロード

新規レイヤ追加

データ登録

- ・画像をアップロードし、レイヤ登録します。
- ※画像データと対応するワールドファイルを、zipファイルに圧縮してアップロードして下さい。
- ※複数の画像をzipファイルとして、一つのレイヤとして登録できます。
- ※日本測地系データの登録するラスターレイヤのタイトルを記入します。
- 座標系を選択します。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
ファイル選択	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="アップロード"/>

選択したファイルをアップロードし登録します。

アップロードするファイルを選択します。

- ・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。
- ※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。
- ※座標系はEPSGコードを記入して下さい。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	<input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
ファイル選択	s_raster.zip <input type="button" value="▼"/>
	<input type="button" value="登録"/>

あらかじめアップロードしたファイルを選択します。

選択されたファイルを登録します。

登録できます。

4.7 WCS マップ管理画面

1) アップロード

新規レイヤ追加

データ登録

- ・画像をアップロードし、レイヤ登録します。
- ・一つの登録する WCS レイヤーのタイトルを記入します。
- ・WCS で登録するメッシュデータのデータ型を指定します。

タイトル	<input type="text"/>
データ型の指定	<input checked="" type="radio"/> GeoTiff ※Geotiffは、座標系と座標が指定されたデータが必須です。 <input type="radio"/> WorldImage ※WorldImageは、地図画像とワールドファイル
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
ファイル選択	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="アップロード"/>

選択したファイルをアップロードし登録します。

アップロードするメッシュデータを選択します。

- ・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。
- ※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。
- ※座標系はEPSGコードを記入して下さい。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	<input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
ファイル選択	s_raster.zip <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="登録"/>

あらかじめアップロードしたファイルを選択します

選択されたファイルを登録します。

登録できます。

4.8 KML マップ管理画面

1) アップロード

新規レイヤ追加

データ登録
 ・KMLファイル
 ※アップロード
 ※KMLファイル

登録する KML レイヤーの
タイトルを記入します。

登録する KML,KMZ を選択
します。

選択したファイルをアップ
ロードし登録します。

登録する KML,KMZ が取得
できる URL を記述します。

記述した URL の KML を
登録します。

URLを指定してレイヤを登録します。
 ※利用可能なURLを指定し、レイヤを登録します。

登録

2) レイヤー編集

選択したレイヤーを削除
します。

レイヤーのメタデータを
作成します。

レイヤーID,タイトルを表
示します。

レイヤー情報、更新設定、
凡例設定を編集します。

レイヤーをクリアリング
ハウス経由で公開するか
設定します。

基本情報設定 | アップロード | レイヤー編集 | メタデータ

選択レイヤ削除

KMLレイヤー一覧

ID	名称	編集	メタデータ	プレビュー	公開設定	削除
<input type="checkbox"/> kml1_1	KMLレイヤ	編集	編集	表示	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> kml1_2	KMLレイヤ	編集	編集	表示	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> kml1_3	URL登録	編集	編集	表示	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除

4.9 SVG マップ管理画面

1) アップロード

基本情報設定 | **アップロード** | レイヤー編集 | メタデータ

新規レイヤ追加

データ登録
・SVGファイルを選択してアップロード
※アップロードしたファイルはsvgzとして保存されます。圧縮されたファイルはsvgzとして下さい。

登録する SVG レイヤーのタイトルを記入します。

タイトル	<input type="text"/>
ファイル選択	<input type="file"/> <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="アップロード"/>

登録する SVG、SVGZ を選択します。

選択したファイルをアップロードし登録します。

・URLを指定してレイヤを登録します。
※利用可能なURLを指定し、レイヤを登録します。

タイトル	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
	<input type="button" value="登録"/>

記述した URL の SVG を登録します。

登録する SVG,SVGZ が取得できる URL を記入します。

4.10 時系列マップ管理

1) レイヤー登録

ローカル接続設定 FTP接続設定

・ローカルフォルダ

※ローカルフォルダから時系列データを取得します。

レイヤ設定	
レイヤタイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
データフォルダ設定	
ディレクトリパス	time/ ※指定フォルダからの時系列データフォルダへのパスを記述します。
日時取得設定	<input type="text"/> ※ファイル名から日時を取得する文字列パターンを記述します。
容量上限	-1 MB ※保存する時系列データの合計ファイルサイズの上限を設定します。
日時設定	
開始日時	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※時系列データの更新開始日時を設定します。
取得間隔	0 日 0 時 0 分 ※時系列データを取得する間隔を設定します。
リトライ間隔	0 分 ※取得失敗時、再度取得するまでの間隔を設定します。
メタデータ設定	
更新設定	<input type="radio"/> 自動設定 <input checked="" type="radio"/> 手動設定 ※日時情報の更新を自動で行うか設定します。
開始日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録開始日時を設定します。
終了日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録終了日時を設定します。
標準日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※日時を設定しない際に表示するデータ日時の設定を行います。
更新間隔情報	0 日 0 時 0 分 ※Capabilitiesに出力する、データの更新間隔を設定します。
<input type="button" value="登録"/>	

登録する時系列レイヤーのタイトルと座標系を設定します。

時系列データを取得するデータフォルダを設定します。

時系列データを取得する開始日時、取得間隔、リトライ間隔を設定します。

時系列レイヤーの Capabilities に記述される日時情報を設定します。

時系列レイヤーの登録を行います。

ローカル接続設定 FTP接続設定

・FTPサーバ

※FTPサーバに接続して時系列データを取得します。

レイヤ設定	
レイヤタイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
FTP接続設定 <input text"="" type="button" value="?</input></td></tr><tr><td>ホスト名</td><td><input type="/>	
ポート番号	21 <input type="text"/>
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
ディレクトリパス	<input type="text"/> ※時系列データが保存されているフォルダのパスを記述します。
日時取得設定	<input type="text"/> ※ファイル名から日時を取得する文字列パターンを記述します。
容量上限	-1 <input type="text"/> MB ※保存する時系列データの合計ファイルサイズの上限を設定します。
日時設定 <input text"="" type="button" value="?</input></td></tr><tr><td>開始日時</td><td>日付: <input type="/> 時刻: <input type="text"/> ※時系列データの更新開始日時を設定します。	
取得間隔	0 <input type="text"/> 日 0 <input type="text"/> 時 0 <input type="text"/> 分 ※時系列データを取得する間隔を設定します。
リトライ間隔	0 <input type="text"/> 分 ※更新失敗時、再度更新するまでの間隔を設定します。
メタデータ設定 <input radio"="" type="button" value="?</input></td></tr><tr><td>更新設定</td><td><input type="/> 自動設定 <input checked="" type="radio"/> 手動設定 ※日時情報の更新を自動で行うか設定します。	
開始日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録開始日時を設定します。
終了日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録終了日時を設定します。
標準日時情報	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/> ※日時を設定しない際に表示するデータ日時の設定を行います。
更新間隔情報	0 <input type="text"/> 日 0 <input type="text"/> 時 0 <input type="text"/> 分 ※Capabilitiesに出力するデータの更新間隔を設定します。
<input type="button" value="登録"/>	

時系列データを FTP サーバから取得するための設定を行います。

4.11 SOS マップ管理

1) マップ詳細編集

マップ設定画面 [<<マップ一覧に戻る](#)

マップタイトル	SOSレビュー3
WMS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wmscapabilities?id=sosreview3
WFS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wfscapabilities?id=sosreview3

基本情報設定 | ログ表示 | レイヤー編集 | メタデータ | 出力形式一覧

マップ詳細情報編集

ID	sosreview3
タイトル <small>*必須</small>	SOSレビュー3
説明	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ベクトルマップのタイトル、説明、キーワードを表示します。</div>
キーワード	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">*単語と単語の間を*(カンマ)で区切って下さい。(例)防災,建物,避難</div>
SOSのURL	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">SOS データを取得する外部 SOS サーバの URL を入力します。</div>

SOS の URL に GetCapabilities リクエストを送信し、登録に必要な情報を取得します。

マップ設定画面 [<<マップ一覧に戻る](#)

マップタイトル	SOSテスト
WMS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wmscapabilities?id=sos04270843
WFS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wfscapabilities?id=sos04270843

基本情報設定 | ログ表示 | レイヤー編集 | メタデータ | 出力形式一覧

マップ詳細情報編集

ID	sos04270843		
タイトル <small>*必須</small>	SOSテスト		
説明	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">登録ボタン押下後 GetCapabilities のレスポンスを受けて、画面が更新されます。</div>		
キーワード	<small>*単語と単語の間を","(カンマ)で区切って下さい。(例 防災,建物 避難)</small>		
マップ表示縮尺	最大縮尺: 1/ 設定無し <small>※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。</small> 最小縮尺: 1/ 設定無し <small>※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。</small>		
SOSのURL	http://192.168.100.207/gserver/noaa_NY-airtemp.xml		
ステーション数	1		
観測種別数	1		
範囲	MinX: 0	MinY: 0	
	MaxX: 0	MaxY: 0	
	<input type="button" value="範囲取得"/>		
(最新データ)			
更新開始日時	日付: <input type="text"/>	時刻: <input type="text"/>	
	<small>※SOSを登録した後、すぐに初回のデータ取得を行います。</small>		
更新間隔	0 日 0 時 0 分		
(過去データ)			
更新開始日時	日付: <input type="text"/>	時刻: <input type="text"/>	
	<small>※SOSを登録した後、すぐに初回のデータ取得を行います。</small>		
更新間隔	0 日 0 時 0 分		
データ取得制限時間	0 時間		
観測データ取得範囲	日付FROM <input type="text"/>		
	日付TO <input type="text"/>		

GetCapabilities のレスポンスを受けて、ステーション数と観測種別数を表示します。

最新データ取得処理の更新開始日時と更新間隔を設定します。

過去データ取得処理の更新開始日時と更新間隔を設定します。

SOS 観測データの取得範囲が設定できます。

2) ログ表示

基本情報設定 | ログ表示 | レイヤー編集 | メタデータ | 出力形式一覧

ログ表示

2014年03月12日 16:32:10	レイヤーが追加されました。観測種別ID: 2 観測種別名: sea_floor_depth_below_sea_surface レイヤーID: sostest1_38 レイヤー名: sea_floor_depth_below_sea_surface
2014年03月12日 15:59:41	レイヤーが追加されました。観測種別ID: 3 観測種別名: air_temperature レイヤーID: sostest1_37 レイヤー名: air_temperature

前回のバックグラウンドセンサーデータDL処理実績

2014年03月13 16:30:00	定時処理を開始します。
2014年03月13 17:30:22	定時処理を終了します。

前回のデータ取得時間

観測種別	処理時間
waves	35.74sec
sea_water_temperature	12.35sec
winds	16.31sec
air_temperature	28.45sec
air_pressure_at_sea_level	18.22sec
currents	184.18sec
sea_water_electrical_conductivity	0.52sec
sea_water_salinity	3.00sec
sea_floor_depth_below_sea_surface	3.61sec

レイヤーの生成情報、外部 SOS サービスとの通信情報を表示します。

前回のバックグラウンドセンサーデータ DL 処理実績を表示します。

前回の観測種別毎の DL 処理実績を表示します。

3) レイヤー編集

「Shp」ボタンを押下すると、ある観測時点のレイヤのシェープファイルを ZIP に圧縮したフォーマットでダウンロードします。
 「CSV」ボタンを押下すると、範囲指定されたステーションが保有する期間指定の SOS データをカンマ区切り CSV ファイル形式でダウンロードできます。
 「テキスト」ボタンを押下すると、範囲指定されたステーションが保有する期間指定の SOS データをタブ区切りテキストファイル形式でダウンロードできます。

レイヤー設定、属性設定、凡例設定を行います。

基本情報設定 ログ表示 レイヤー編集 メタデータ 出力形式

先頭 上へ 下へ 最後 地図プレビュー

SOSレイヤー一覧

ID	名称	編集	スタイル	メタデータ	プレビュー	公開設定	ダウンロード
<input type="checkbox"/> sostest1_37	気温					<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	↓ Shp ↓ CSV ↓ テキスト
センサー情報 データ有効期間 2006-01-01 09:10:00 ~ 現在 データ所有期間 2014-02-13 14:57:26 ~ 2014-03-13 07:00:01							
<input type="checkbox"/> sostest1_0	wind_speed					<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	↓ Shp ↓ CSV ↓ テキスト
センサー情報 データ有効期間 2006-01-01 09:10:00 ~ 現在 データ所有期間 2014-02-13 14:57:26 ~ 2014-03-13 07:00:01							
<input type="checkbox"/> sostest1_1	wind_speed_of_gust					<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	↓ Shp ↓ CSV ↓ テキスト

センサー情報データ有効期間は、SOS サービスに保存されているデータの範囲です。
 センサー情報データ所有期間は、相互運用 g サーバのデータ更新スケジューリング機能によってデータが SOS サービスからダウンロードされている期間を示します。

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するか設定します。

4.12 アイコン管理

アイコンの名前を編集します。

アイコンを編集した名前に変更します。

選択したアイコンを削除します。

アイコンをアップロードして追加します。

他のマップで登録されているアイコンを取得する。他のマップで使用しているアイコンを利用できるようにします。

マップ選択: test1_test1

選択したアイコンをコピーする↑

マップを選択し含まれるアイコンを表示します。

選択したアイコンをマップにコピーします。

引用元のマップのアイコン一覧を表示します。

<input type="checkbox"/>	画像	サイズ	名前	名前変更
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	dot_E8B800.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	dot_e8b800.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	line_h.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>		幅: 4×高さ: 4	line_h_6978B7.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>		高さ: 4	line_v.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	slash_LCF9076.gif	名前変更

選択アイコン削除

アイコンアップロード

参照... 画像アップロード

<input type="checkbox"/>	画像	サイズ	名称
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	dot_E8B800.gif
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	line_h.gif
<input type="checkbox"/>		幅: 4×高さ: 4	line_v.gif
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	slash_
<input type="checkbox"/>		幅: 8×高さ: 8	x_AF4

4.13 共有設定

一括設定

全ユーザ:

個別設定

ユーザ名	共有設定
test1	<input checked="" type="radio"/> 共有 <input type="radio"/> 共有しない
test2	<input type="radio"/> 共有 <input checked="" type="radio"/> 共有しない

設定更新

共有設定を更新します。

共有設定の選択を一括で変更します。

編集者権限のユーザを表示します。

マップの共有、共有しないを指定します。

4.14 ベクトルレイヤー管理画面

1) レイヤー設定

レイヤ設定	属性設定	データ編集	凡例設定
レイヤタイトル <small>*必須</small>	point_sample3		
説明			
キーワード			
表示縮尺	表示最大縮尺: 1/ 設定無し ▼ 表示最小縮尺: 1/ 設定無し ▼ ※ Capabilities に表示する縮尺範囲を設定します。		
範囲	MinX: 139.439819335938 MinY: 35.6942977905273 MaxX: 139.488128662109 MaxY: 35.7047309875488 範囲取得 ※ Capabilities に表示する画像範囲を設定します。		
著作権情報	登録済みのデータから範囲を取得します。		
	登録データの著作権情報を記入します。		
	更新		

変更を保存します。

2) 属性設定

The screenshot shows the '属性設定' (Attribute Settings) window with the following elements and callouts:

- レイヤ設定 | 属性設定 | 凡例設定** (Tabs)
- 属性名** (Attribute Name) column: 住所p, 名称, 番号, 経度, 緯度, 電話番
- 属性タイプ** (Attribute Type) column: 文字列, 文字列, 数値(小数点あり), 数値(小数点あり), 数値(小数点あり), 文字列
- 変更** (Change) buttons for each row.
- 属性追加** (Add Attribute) button: Callout: "属性を追加します。" (Add attribute.)
- ↑復元** (Restore) button: Callout: "属性を管理します。「復元」削除した属性から復元します。" (Manage attribute. Restore attribute from deleted attribute.)
- 選択削除** (Delete Selected) button: Callout: "「選択削除」選択した属性を削除します。" (Delete selected attribute.)
- 名前変更** (Rename) button: Callout: "「名前変更」名前欄の通りに属性名を変更します。" (Rename attribute name according to the name field.)
- 削除された属性の一覧が表示されます。** (Deleted attributes are displayed.)
- 編集した名称に属性の名称を変更します。** (Change attribute name to edited name.)
- 属性の名称を編集します。** (Edit attribute name.)
- 属性の型を表示します** (Display attribute type.)

属性名	属性タイプ	変更
<input type="checkbox"/> 住所p	文字列	変更
<input type="checkbox"/> 名称	文字列	変更
<input type="checkbox"/> 番号	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 経度	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 緯度	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 電話番	文字列	変更

整数 ▼ 属性追加

↑復元 選択削除 名前変更

test1

3) 時系列設定

レイヤ設定 属性設定 **時系列設定** データ編集 凡例設定

ベクトルレイヤの時間属性を設定することで、時系列を利用した配信を行います。

合併年 ▼

設定

設定解除

時系列情報を持った属性一覧から選択します。

時系列レイヤーとして登録します。

時系列設定を解除します。

4) データ編集

レイヤ設定 属性設定 **データ編集** 凡例設定

シェープファイルのアップロードを行い、登録されているデータの編集を行います。

●追加(マージ)
レイヤにアップロードしたデータを追加します。
※同じジオメトリ型のシェープファイルをアップロードしてください。
※レイヤの属性名、属性型が一致したシェープファイルの属性が登録されます。

●差し替え
レイヤのデータを削除して、アップロードしたデータに差し替えます。
※同じジオメトリ型のシェープファイルをアップロードしてください。
※レイヤの属性名、属性型と一致したシェープファイルの属性が登録されます。

●再登録
レイヤを削除して、レイヤIDを変更せずにレイヤを新規登録します。
※再登録後はスタイルを編集してください。

座標系: 世界測地系緯度経度

文字コード:
※属性の文字コードがSJISの場合チェック

ファイル選択: ファイルが選択されていません。

登録レイヤにデータを追加します。

登録レイヤのデータを差し替えます。

登録レイヤを再登録します。

アップロードファイルの座標系を指定します。

アップロードファイルの文字コードを指定します。

アップロードするファイルを選択します。

ファイルをアップロードしてデータを編集します。


5) 凡例設定

レイヤ設定 属性設定 ジオメトリ集 凡例設定

スタイル設定から生成される、デフォルトの凡例を利用します。

情報

デフォルトの凡例を利用する。

	名称: hanrei_test.png
	幅: 257
	高さ: 80
	<input type="button" value="削除"/>

アップロードした凡例画像を凡例に指定します。

凡例画像を削除します。

選択した画像を凡例に指定します。

凡例に利用する画像をアップロードします。

凡例アップロード

4.15 ベクトルスタイル管理画面

The screenshot shows the 'create_1' style management interface. It is divided into two main sections: a left sidebar and a main content area.

Left Sidebar:

- 凡例:** A preview of a blue line. Callout: "現在のスタイル設定を表示します。" (Displays the current style settings.)
- マップ表示縮尺:** Includes '最大縮尺' (Maximum scale) and '最小縮尺' (Minimum scale) input fields. Callout: "マップで指定された表示縮尺を表示します。" (Displays the display scale specified in the map.)
- 属性の値確認:** A dropdown menu for 'PEN_COLOR' with the value '255: 0: 0'. Callout: "属性の値を選択し、確認します。" (Selects the attribute value and confirms it.)

Main Content Area:

- 描画設定 エディタ:** The main editing area. Callout: "スタイルの設定変更画面を切り換えます。" (Switches to the style settings change screen.)
- 自動描:** A button for automatic drawing.
- 設定1:** A section for setting 1. A red warning message states: "「更新の適応」を行う事で、この描画設定は削除されます。" (By performing 'Apply Update', this drawing setting will be deleted.)
- 設定2:** A section for setting 2, containing:
 - 凡例ラベル:** A dropdown menu.
 - 表示最大縮尺:** A dropdown menu with '設定無し' (None) selected.
 - 表示最小縮尺:** A dropdown menu with '設定無し' (None) selected.
 - 属性の個から表示制限を行う (Apply display limit from number of attributes)
 - 線を表示する (Display line)
 - ラベルを表示する (Display label)
- 設定2の削除:** A button to delete setting 2.
- 描画設定の追加:** A button to add drawing settings.
- 更新の適応:** A button to apply updates.

1) 自動描画設定

create_7 自

レイヤーの属性の値から描画設定を行います。描画の手法を指定します。

スタイル設定の確認を行います。

確認 →

シンボルの色設定

属性の選択 ROT

属性の分割方法 値を等間隔で色分け

分割数 4

色の表示方法 グラデーション

色の選択 開始色 #b6664d 終了色 #95ee22

透明度 1.0

ラベルを表示する

属性の選択 FONT

フォントサイズ 14

表示最大縮尺: 設定無し

表示最小縮尺: 設定無し

レイヤーの表示縮尺の範囲を指定します。

色設定

色選択	値
0	#b6664d 0
1	#ad8842 118.333333
2	#a5aa37 236.666667
3	#9dcc2c 355

透明度 1.0

ラベル設定

表示する属性 FONT

フォントサイズ 14

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 設定無し

表示最小縮尺: 設定無し

塗り分けの実行

描画設定を実行します。

描画設定の確認と修正を行います。

2) 詳細設定

凡例ラベル	Green Line	スタイル設定のルール名を記入します。
表示最大縮尺:	500	凡例のラベルを記入します。
表示最小縮尺:	2500	

<input checked="" type="checkbox"/> 点を表示する	スタイル設定のルールごとの表示縮尺を指定します。
形状	四角
色	#f00000
サイズ	6.0
透明度	1.0 (0~1.0)
画像	選択
	点の形状、サイズ、透明度を設定します。

<input checked="" type="checkbox"/> 外枠を表示する	点の外枠の設定を行います。
形状	直線
線色	#f711a9
幅	1.0
透明度	1.0 (0~1.0)
間隔	(鎖線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0)

<input checked="" type="checkbox"/> 線を表示する	線の形状、幅、透明度の設定を行います。
種類	直線
色	#0000ff
線幅	1.0
透明度	1.0 (0~1.0)
間隔	(鎖線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0)

<input checked="" type="checkbox"/> 面を塗りつぶす	面の塗りつぶし、透明度の設定を行います。
塗りつぶし	画像
色	
透明度	1.0 (0~1.0)
サイズ	6.0
画像	選択 create/slash_I_F2

外枠を表示する

線種

線色

線幅

透明度 (0~1.0)

間隔 (鎖線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0))

面の外枠の設定を行います。

ラベルを表示する

属性

色

サイズ

表示位置 左右 (負の値で左方向、正の値で右方向)
 上下 (負の値で下方向、正の値で上方向)

回転 度

ラベルの属性、サイズ、位置、回転の設定を行います。

3) エディタ

SLDエディタ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<sld:StyledLayerDescriptor
xmlns="http://www.opengis.net/sld"
xmlns:sld="http://www.opengis.net/sld"
xmlns:ogc="http://www.opengis.net/ogc"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml"
  <sld:UserLayer>
    <sld:Name>default line</sld:Name>
    <sld:LayerFeatureConstraints>
      <sld:FeatureTypeConstraint/>
    </sld:LayerFeatureConstraints>
    <sld:UserStyle>
      <sld:Name>Default Styler</sld:Name>
      <sld:Title>A boring default style</sld:Title>
      <sld:Abstract>A sample style that just prints
out a green line</sld:Abstract>
      <sld:FeatureTypeStyle>
        <sld:Name>name</sld:Name>
```

スタイル設定の SLD を直接編集します。設定画面では出来ない細かい設定を行います。

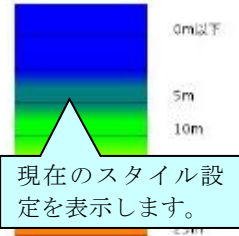
スタイル更新

編集内容に従ってスタイルを更新します。

4.16 WCS スタイル管理画面

w_0 スタイル設定

凡例



現在のスタイル設定を表示します。

マップ表示縮尺

最大縮尺

最小縮尺

画像詳細

最大 320.35998535156

最小 -7.25

平均 28.058394963002

偏差 46.466844649924

メッシュデータの統計値を表示します。

描画設定 エディタ

自動描画設定 スタイルの設定変更画面を切り換えます。

表示最大縮尺: 0

表示最小縮尺: 設定無し

ラベル	値	色	透明度	
0m以下	-10.0		1.0	削除
null	1.0		1.0	削除
			1.0	削除
			1.0	削除
15m	15.0		1.0	削除
20m	20.0		1.0	削除
25m	25.0		1.0	削除
30m	30.0		1.0	削除
30m以上	400.0		1.0	削除

色設定追加
更新の適応
描画設定を更新します。

マップで指定された表示縮尺を表示します

1) 自動描画設定画面

w_0 自動描画設定

シンボルの色設定

画像の分割方法: 値を等間隔で色分け

分割数: 10

色の表示方法: グラデーション

色の選択
開始色: #4231bf
終了色: #a31931

透明度: 1.0

表示大縮尺: 500
表示小縮尺: 100000

レイヤーの表示縮尺の範囲を設定します。

確認
→

色設定

色選択	値	透明度
0	#4231bf	-7.25
1	#4c2eb0	29.151109
2	#562ca2	65.552219
3	#602994	101.953328
4	#6b2886	138.354438
5	#752878	174.755547
6	#7f2269	211.156657
7	#89205b	247.557766
8	#931d4d	283.958876
9	#9d1b3f	320.359985

表示縮尺設定
表示最大縮尺: 500
表示最小縮尺: 100000

塗り分けの実行

描画設定を反映します。

描画設定を確認します。

メッシュ値の描画設定を選択します。

描画設定の確認・修正を行います。

2) 詳細設定画面

表示最大縮尺: 0
表示最小縮尺: 設定無し

スタイル設定の表示縮尺を指定します。

ラベル	値	色	縮尺	削除
0m以下	-10.0	#0000ff	1.0	削除
null	1.0	#0000ff	1.0	削除
5m	5.0	#007fff	1.0	削除
10m	10.0	#00ffff	1.0	削除
15m	15.0	#7fffff	1.0	削除
20m	20.0	#ffff00	1.0	削除
25m	25.0	#ff7f00	1.0	削除
30m	30.0	#ff2a00	1.0	削除
30m以上	400.0	#ff0000	1.0	削除

色設定追加

新しい適応

色設定を追加します。

値の範囲における表示設定とラベルの設定を行います。

色設定を削除します。

4.17 KML レイヤー編集画面

更新設定画面

レイヤ設定 更新設定 凡例設定

※取得先のURLを設定することで、レイヤを定期的に更新します。

更新URL:

KML レイヤーのデータ、キャッシュを更新します。

更新する KML を取得する URL を記述します。

※レイヤの更新の設定を行います。

更新を行わない

更新を行う レイヤーの自動更新の設定を行います。

更新設定の更新を行います。

4.18 SVG レイヤー編集画面

更新設定画面

レイヤ設定 更新設定 凡例設定

※取得先のURLを設定することで、レイヤーを定期的に更新します。

更新URL:

SVG レイヤーのデータ、キャッシュを更新します。

更新する KML を取得する URL を記述します。

※レイヤーの更新間隔の設定を行います。

更新を行わない

更新を行う レイヤーの自動更新の設定を行います。

更新設定の更新を行います。

4.19 時系列レイヤー編集画面

レイヤ設定		時系列一覧		取得設定		凡例設定	
レイヤタイトル <small>*必須</small>	<input type="text" value="test"/>						
説明	<input type="text"/>						
キーワード	<input type="text"/>						
	※単語と単語の間を","(カンマ)で区切って下さい。(例)防災,建物,避難						
範囲	MinX:	<input type="text" value="139.941136485895"/>	MinY:	<input type="text" value="36.0923885410676"/>			
	MaxX:	<input type="text" value="140.31051700893"/>	MaxY:	<input type="text" value="36.3916065566733"/>			
更新設定	<input checked="" type="radio"/> 自動設定 <input type="radio"/> 手動設定 ※日時情報の更新を自動で行うか設定します。						
開始日時情報	日付: <input type="text" value="2013-01-10"/> 時刻: <input type="text" value="10:10:00"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録開始日時を設定します。						
終了日時情報	日付: <input type="text" value="2013-01-10"/> 時刻: <input type="text" value="13:10:00"/> ※Capabilitiesに出力するデータ登録終了日時を設定します。						
標準日時情報	日付: <input type="text" value="2013-01-10"/> 時刻: <input type="text" value="13:10:00"/> ※日時を設定しない際に表示するデータ日時の設定を行います。						
更新間隔情報	0 日 0 時 10 分 ※Capabilitiesに出力するデータ更新間隔を設定します。						
著作権情報	<input type="text"/>						
	<input type="button" value="更新"/>						

SVG レイヤーのタイトル、説明、キーワードを記入します。

Capabilities に記述する時系列レイヤーのデータ日時情報の設定を行います。

時系列レイヤーの情報を更新します。

記述する時系列レイヤーの著作権情報を記入します。

4.20 時系列レイヤーデータ一覧画面

登録された時系列データの合計
ファイルサイズを表示します。

レイヤ設定	時系列一覧	取得設定	凡例設定
先頭	< 前へ	次へ	最後
1-12 / 32件			
合計サイズ:485KB / 上限サイズ:500MB			
ID	登録日時	プレビュー	削除
1	2013-01-10T10:10:00	 表示	削除
2	2013-01-10T11:10:00	 表示	削除
3	2013-01-10T12:10:00	 表示	削除
4	2013-01-10T13:10:00	 表示	削除
5	2013-01-20T11:10:00	 表示	削除
6	2013-02-10T11:10:00	 表示	削除
7	2013-02-11T11:10:00	 表示	削除
8	2013-02-12T11:10:00	 表示	削除
9	2013-02-13T11:10:00	 表示	削除
10	2013-02-14T11:10:00	 表示	削除
11	2013-02-15T11:10:00	 表示	削除
12	2013-02-15T12:10:00	 表示	削除

登録された時系列データを登録日時順に並べた表を表示します。

登録データのプレビューを別画面で表示します。

登録データを削除します。

4.21 時系列レイヤー定期取得設定編集画面

レイヤ設定		時系列一覧		取得設定		凡例設定	
<input checked="" type="radio"/> ローカル接続設定 <input type="radio"/> FTP接続設定							
登録設定							
定期取得	<input checked="" type="radio"/> 取得を行う <input type="radio"/> 取得を行わない						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時系列データを定期的に取得するか設定します。</div>							
レイヤ設定							
座標系	<input type="text" value="EPSG:30169"/> ※(例)EPSG:4326						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時系列レイヤーの座標系を設定します。</div>							
データフォルダ設定							
ディレクトリパス	<input type="text" value="time/data/bosai/bosai6"/>						
日時取得設定	<input type="text" value="yyyyMMddHHmmss"/> ※年:y,月:M,日:d時:H,分:m,秒:s ※例 yyy-MM-dd'T'HH:mm:ss(2012-01-01T12:01:01.tif)						
容量上限	20 MB ※上限を設定しない場合は-1を記入						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時系列データの取得データフォルダの設定行います。</div>							
日時設定							
開始日時	日付: <input type="text" value="2012-12-12"/> 時刻: <input type="text" value="10:30:12"/>						
取得間隔	<input type="text" value="0"/> 日 <input type="text" value="0"/> 時 <input type="text" value="10"/> 分						
リトライ間隔	<input type="text" value="5"/> 分						
<input type="button" value="登録"/>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時系列データの取得設定を更新します。</div>							

4.22 時系列スタイル設定画面

1) 描画設定

ame1_0 スタイル設定

描画設定 エディタ

自動描画設定画面表示 自動描画設定画面を表示します。

表示最大縮尺: 500 ※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 250000 ※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

最大: 9.0
最小: 0.0

時系列データの最大値、最小値を表示します。

ラベル	値	色	透明度	
label0	0.0	#0000ff	1.0	削除
label1	1.0	#1900e5	1.0	削除
label2	2.0	#3300cc	1.0	削除
label3	3.0	#4c00b2	1.0	削除
label4	4.0	#660099	1.0	削除
label5	5.0	#7f007f	1.0	削除
label6	6.0	#990065	1.0	削除
label7	7.0	#b2004c	1.0	削除

色設定追加 描画設定を追加します。。

更新の適応

描画設定を更新します。

画素値ごとの描画設定を行います。

2) 自動描画設定

ame1_0 自動描画設定

シンボルの色設定

画像の分割方法: 最大値、最小値から等間隔で色分け ▾

分割数: 10 ▾

色の表示方法: グラデーション ▾

色の選択

開始色: #0000ff

終了色: #ff0000

透明度: 1.0

表示最大縮尺: 100 ▾
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 1000000 ▾
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

確認

自動描画設定のパラメータを設定します。

レイヤーの表示縮尺を設定します。

描画設定の確認画面を表示します。

ame1_0 自動描画設定

色設定

色選択	値	ラベル	透明度
0	#0000ff	label10	1.0
1	#1900e5	label11	1.0
2	#3300cc	label12	1.0
3	#4c00b2	label13	1.0
4	#660099	label14	1.0
5	#7f007f	label15	1.0
6	#990065	label16	1.0
7	#b2004c	label17	1.0
8	#cc0032	label18	1.0
9	#e50019	label19	1.0

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 100 ▾
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 1000000 ▾
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

描画設定 戻る

描画設定の確認編集を行います。

レイヤーの表示縮尺を設定します。

描画設定を更新します。

4.23 SOS レイヤー管理画面

1) レイヤー設定

レイヤ設定 | 属性設定 | 凡例設定

レイヤタイトル 必須 気温

air_temperature

説明

キーワード

※単語と単語の間を","(カンマ)で区切ります。

センサー情報

データ有効期間: 2006-01-01

データ所有期間: 2014-02-18 2014-03-04

著作権情報

更新

変更を保存します。

GetCapabilities のレスポンスの結果取得されるセンサー名称を変更できます。

SOS マップのタイトル、説明、キーワードを記入します。

データ有効期間、所有期間を表示します。

登録データの著作権情報を記入します。

2) 属性設定

レイヤ設定 | 属性設定 | 凡例設定

地図画面に表示する属性の表示/非表示を設定します。

属性名	属性タイプ	表示
ステーションID	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
ステーション名称	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
ステーション位置(緯度)	数値(小数点あり)	<input type="radio"/> 表示 <input checked="" type="radio"/> 非表示
ステーション位置(経度)	数値(小数点あり)	<input type="radio"/> 表示 <input checked="" type="radio"/> 非表示
グラフ表示リンクタグ	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
時刻	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
時刻有効範囲(開始)	文字列	
時刻有効範囲(終了)	文字列	
センサー値	数値(小数点あり)	

更新

4.24 SOS スタイル設定画面

1) 描画設定

c87_75 スタイル設定

凡例

- -5
- -5 - 0
- 0 - 5
- 5 - 10
- 10 - 15
- 15 - 20
- 20 - 25
- 25 - 30
- 30 - 35

マップ表示縮尺

最大縮尺

最小縮尺

属性の値確認

VAL

最大

最少

平均

偏差

テンプレート

描画設定

自動描画設定

設定1

凡例ラベル

表示最大縮尺: ※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: ※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

属性の値から表示制限を行う

AND <

点を表示する

形状

色

サイズ

透明度 (0~1.0)

画像

外枠を表示する

形状

線色

幅

透明度 (0~1.0)

間隔 (隣線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0)

ラベルを表示する

属性

色

サイズ

表示位置 左右 (負の値で左方向、正の値で右方向)

上下 (負の値で下方向、正の値で上方向)

回転 度

設定2

設定3

設定4

「自動画面設定画面」にて指定の分割数の設定を行うと、凡例の色と属性が自動で分割されます。この場合、指定の分割数+1の描画設定が作成されます。最後の描画設定（この場合設定 11）はデータが無い場合等異常データの表示設定となります。

「テンプレート画面」を押下すると、「スタイルテンプレート」画面に遷移し、スタイル設定の「保存」「読込」「削除」ができます。

スタイルテンプレート

保存 読み込み 削除

名称

気温10分割

スタイルテンプレート保存
編集したスタイル設定をテンプレートに保存します。この場合名称入力エリアにテンプレート名称を入力してください。

スタイルテンプレート読み込み
登録されているスタイルテンプレートを選択し、呼び出します。

スタイルテンプレート削除
登録されているスタイルテンプレートを選択し、そのテンプレートを削除します。

2) 自動描画設定

属性の選択で設定された属性の最小値～最大値（⑩で表示あるいは編集）を設定された分割数で分割します。

c87_75 自動描画設定

確認 →

シンボルの色設定

属性の選択 VAL

属性の分割方法 値を等間隔で色分け

分割数 10

色の表示方法 HSV(時計回り)

色の選択
開始色 #0000ff
終了色 #fd0a3b

透明度 1.0

最小値 -10

最大値 40

ラベルを表示する

属性の選択 TIME

フォントサイズ 14

表示最大縮尺: 設定無し
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 設定無し
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

色設定

色選択	値
0	#0000ff -10
1	#0177ff -5
2	#02ecff 0
3	#03fe9c 5
4	#04fe2b 10
5	#57fe06 15
6	#cbfe07 20
7	#fdbd08 25
8	#fd4a09 30
9	#fd0a3b 35

透明度 1.0

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 設定無し
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 設定無し
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

描画設定作成

デフォルトでは、「属性の選択」で選択された属性の最小値と最大値が入力されています。最小値～最大値を「属性の分割方法」の選択によって自動で分割します。任意の設定にしたい場合は、入力してください。

4.25 ユーザ選択マップ

運用gサーバ1

ログインユーザ: admin

設定 ヘルプ ログアウト

地図管理

- マップ一覧
- バック
- ラスタ
- WCS
- 選択マップ
- マップ新規作成
- カテゴリー一覧
 - newCat
 - newCat2
 - newCat3
 - test1
 - test4
 - test6
 - test7
 - test8
 - test9
 - cat1a
- カテゴリー新規作成
- カテゴリー管理
- プレビュー
 - プレビュー一覧

マップ設定画面 <<マップ一覧に戻る

選択マップのタイトルと Capabilities の URL を表示します。

マップタイトル	ユーザテスト1
WMS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/
WFS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wfscapabilities?id=user1
WCS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wscapabilities?id=user1

基本情報設定 | レイヤー一覧 | レイヤー追加 | メタデータ

マップ詳細情報編集

選択マップの設定画面を切り換えます。

選択マップの設定画面が表示されます。「基本情報設定」「レイヤー一覧」「レイヤー追加」「メタデータ」

ID

タイトル

説明

キーワード

test3です

*単語と単語の間を"."(カンマ)で区切って下さい。(例)防犯カメラ 監視

範囲

MinX:	131.107779	MinY:	33.622121
MaxX:	139.501801	MaxY:	35.727879

範囲取得

更新 リセット

1) 基本情報設定

マップ詳細情報編集

ID	user1		
タイトル <small>必須</small>	ユーザテスト1		
説明	test		
キーワード	test3です		
	<small>*単語と単語の間を“(カンマ)”で区切って下さい。(例 防災,建物,避難)</small>		
範囲	MinX: 139.417358	MinY: 35.687515	マップの表示範囲を設定します。
	MaxX: 139.501801	MaxY: 35.727879	
	範囲取得		
	更新 リセット		

マップのタイトル、説明、キーワードを記述します。

マップの表示範囲を設定します。

登録されているレイヤーの範囲の合計を取得します。

マップの情報を記述に従って更新します。

2) レイヤー一覧

レイヤーID	引用元マップID	説明	プレビュー	削除	
<input type="checkbox"/> ftest_8	ftest		表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_11	ftest		表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input type="checkbox"/> test10_1	point_sample3	test10	testa	表示	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> test12_1	point_sample3	test12		表示	<input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_2	line_sample2	ftest	表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_6	line_sample6	ftest	表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input type="checkbox"/> ftest_7	point_sample1	ftest	表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_12	ftest		表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input type="checkbox"/> ftest_13	ftest		表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_14	ftest		表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input type="checkbox"/> ftest_15	polygon_sample6	ftest	表示	<input type="button" value="削除"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> ftest_16	polygon_sample7	ftest	表示	<input type="button" value="削除"/>	

選択されたレイヤーを選択マップから解除します。

レイヤーを選択マップの選択を解除します。

選択したレイヤーの並び順を変更します。

レイヤーのジオメトリ型をアイコンで表示します。

レイヤーのプレビュー画面を表示します。

3) レイヤー追加

マップの絞り込み

マップ一覧表示 ベクトルマップ一覧表示 WCSマップ一覧表示

地図検索

参照したいマップを検索します。

マップの全体プレビューを表示します。

利用可能なマップ一覧

先頭 < 前へ > 次へ > 最後

地図ID	タイトル	説明	レイヤ追加	プレビュー
crea	test		表示	表示
ite		説明テスト	表示	表示
new		test1a	表示	表示
newmap			表示	表示
newmap4	newmap4	test	表示	表示
newwcs	testです	test1	表示	表示
tesr	bbjhkd,		表示	表示
test1	test1		表示	表示
test10	teset		表示	表示
test11	test11		表示	表示
test12	test12		表示	表示
test13	test13		表示	表示
test14	test15		表示	表示
test15	test15		表示	表示
test16	test16		表示	表示
test17	test17		表示	表示
test18	test		表示	表示

マップのタイプをアイコンで表示します。

レイヤー引用フォームを表示します。

<input type="checkbox"/>	ftest_3	line_sample3	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_4	line_sample4	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_5	line_sample5	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_6	line_sample6	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_7	line_sample1	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_8	line_sample2	表示
<input type="checkbox"/>	ftest_9	line_sample3	表示
<input type="checkbox"/>	ftest_10	polygon_sample1	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_11	polygon_sample2	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_12	polygon_sample3	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_13	polygon_sample4	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_14	polygon_sample5	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_15	polygon_sample6	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_16	polygon_sample7	表示
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_17	polygon_sample8	表示

引用するレイヤーのチェックボックスを選択します。

選択レイヤを追加する。

選択したレイヤーを選択マップに追加します。

4.26 設定画面

相互運用gサーバ

名前: admin [設定](#) [ヘルプ](#) [ログアウト](#)

設定画面

[<<マップ一覧に戻る](#)

[ユーザ設定](#) [問い合わせ先設定](#) [タイトル設定](#) [背景地図編集](#) [クリアリングハウス編集](#)

ユーザ登録

データの登録・観覧を行う

[新規ユーザ追加](#)

設定画面の管理画面を切り換えます。

ユーザー一覧

登録されているユーザを表示します。

名前	役割	編集	削除
admin	管理者	編集	
manager	管理者	編集	削除

管理画面を表示します。
「ユーザ設定」「問い合わせ先設定」
「タイトル設定」「背景地図編集」
「クリアリングハウス編集」

4.27 ユーザ設定

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | タイトル設定

ユーザ登録
データの登録・観覧を行うユーザを登録
新規ユーザ追加

新規ユーザ登録フォームを表示します。

ユーザ一覧
登録されているユーザを表示します。

ID	ユーザ名	役割	編集	削除
2	admin	管理者	編集	削除
58	test3	編集者	編集	削除
64	test4	編集者	編集	削除
66	test5	編集者	編集	削除
68	test6	編集者	編集	削除
72	test7	編集者	編集	削除

ユーザの管理権限を表示します。

ユーザ編集フォームを表示します。

ユーザ登録を削除します。

1) ユーザ新規登録

新規ユーザ追加

ログインID

ユーザ名

パスワード

パスワード(再入力)

役割 管理者 ▼

保存

ユーザのログイン ID, 名前を記入します。

ユーザのログインパスワードを 2 回記入します。

ユーザの管理権限を設定します。

ユーザを登録します。

2) ユーザ編集

ユーザ情報の変更	
ログインID	manager
ユーザ名	
役割	管理者 ▼
認証パスワード	※ログイン中のユーザのパスワード
認証パスワード(再入力)	※ログイン中のユーザのパスワード

更新 [パスワードの変更](#)

ユーザの名称を記入します。

ユーザの権限を変更します。

ログイン中のユーザのパスワードを 2 回記入します。

3) ユーザのパスワード変更

パスワードの変更	
ログインID	manager
認証パスワード	※ログイン中のユーザのパスワード
新しいパスワード	※変更するユーザの新しいパスワード
新しいパスワード(再入力)	※変更するユーザの新しいパスワードを再入力

更新 [ユーザ情報の変更](#)

ログイン中のユーザのパスワードを記入します。

変更するユーザのパスワードを 2 回記入します。

ユーザの更新を保存します。

4) ユーザ削除

ユーザの削除

ユーザID	2
名前	manager
認証パスワード	<input type="password"/> ※ログイン中のユーザのパスワード
認証パスワード(再入力)	<input type="password"/>

ユーザを削除します。

ログイン中のユーザのパスワードを 2 回記入します。

4.28 問い合わせ先設定

ユーザ設定 | **問い合わせ先設定** | タイトル設定

問い合わせ先の編集

データの管理者への問い合わせ先を編集します。

ID	問い合わせ先名称	編集
10	test1	<input type="button" value="編集"/>
11	test2	<input type="button" value="編集"/>

問い合わせ先新規作成フォームを表示します。

問い合わせ先編集フォームを表示します。

1) 新規問い合わせ先作成

住所

国

郵便番号

都道府県名

市区町村

住所詳細

電話番号

ファクシミリ番号

電子メールアドレス

問合せ案内

案内時間

問合せのための手引き

リンク

記述

問い合わせ先の情報を記入します

問い合わせ先を新規作成します。

2) 問い合わせ先編集

住所	
国	jpn
郵便番号	
都道府県名	
市区町村	
住所詳細	
電話番号	
ファクシミリ番号	
電子メールアドレス	
問合せ案内	
案内時間	
問合せのための手引き	
リンク	
記述	

連絡先変更 連絡先削除

問い合わせ先の情報を編集します。

問い合わせ先を更新します。

問い合わせ先を削除します。

4.29 タイトル設定

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | **タイトル設定**

タイトル編集

サイトに表示されるタイトルを編集します。

現在のタイトル

変更後のタイトル

ログインユーザのパスワード

現在のタイトルが表示されます。

変更後のタイトルを記入します。

ログインユーザのパスワードを入力します。

タイトルを更新します。

4.30 背景地図設定

相互運用サーバ 名前: admin

設定画面

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | **背景地図設定** | アレンジングハウス編集

背景地図の新規登録

プレビュー画面の背景地図を追加

登録済み背景地図

登録された背景地図の設定を修正、削除します。

地図名称	URL	レイヤ名	フォーマット	削除
<input type="text" value="Sample"/>	<input type="text" value="http://sample.com/sample?"/>	<input type="text" value="sample"/>	<input type="text" value="image/png"/>	<input type="button" value="削除"/>

背景地図の設定を記入して地図を追加します。

入力された背景地図の設定を変更します。

4.31 クリアリングハウス設定

相互運用gサーバ

名前: admin 設定 ヘルプ ログアウト

設定画面 [<<マップ一覧に戻る](#)

[ユーザ設定](#) [問い合わせ先設定](#) [タイトル設定](#) [背景地図設定](#) **クリアリングハウス設定** [マップ情報一覧](#)

クリアリングハウス設定

クリアリングハウスのURLを登録します。

URL	<input type="text" value="http://server.domain.com/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService?"/> <small>※クリアリングハウスに登録可能なURLを記述します。 ※URLが?まで記述して下さい。</small>
パラメータ	<input type="text" value="SERVICE=CSW&VERSION=2.0.2&REDIRECTURL=/CatalogueService/dummy.jsp"/> <small>※登録時に必要なURLのパラメータを記述します。 ※設定しない場合は標準のパラメータを利用します。</small>
認証パスワード	<input type="text" value=""/> <small>※ログイン中のユーザのパスワード</small>

クリアリングハウスの「URL」「パラメータ」を記入します。

クリアリングハウスの設定を更新します。

クリアリングハウス ログインユーザ設定

ユーザID	<input type="text" value="user"/> <small>※クリアリングハウスのログインユーザ</small>
パスワード	<input type="text" value=""/> <small>※クリアリングハウスのログインパスワード</small>
確認用パスワード	<input type="text" value=""/> <small>※もう一度入力して下さい。</small>

クリアリングハウスのログインユーザ設定を行います。

クリアリングハウス ログインユーザの共有設定

共有	ユーザID	ユーザ名	権限
<input checked="" type="checkbox"/>	user1	user1	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	user2	user2	編集者
<input type="checkbox"/>	user3	user3	管理者

クリアリングハウスのログインユーザの共有設定を行います。

4.32 マップ情報一覧画面

相互運用サーバ

名前: アドミン
設定 ヘルプ ログアウト

設定画面 [≪マップ一覧に戻る](#)

[ユーザ設定](#) | [問い合わせ先設定](#) | [タイトル設定](#) | [背景地図設定](#) | [クリアリングハウス設定](#) | **マップ情報一覧**

マップ情報一覧

マップごとリクエスト可能なURL等がされたCSV形式のファイルをダウンロードします。

1-30 / 55件

ID	マップ名称	更新日時	ダウンロード
	全マップ情報取得		ダウンロード
ame1	あめりスク	2013年 01月17日	ダウンロード
bosai1	防災マップ	2013年 02月20日	ダウンロード
kml	kml1	2013年 03月20日	ダウンロード
kml2	kml	2012年 06月28日	ダウンロード
mh	MH	2013年 08月28日	ダウンロード
mhtest	test	2013年 08月28日	ダウンロード
mv	MV	2013年 08月28日	ダウンロード
pr500	PR500		ダウンロード
raster	raster1		ダウンロード
raster2	raster		ダウンロード
rr500	RR500		ダウンロード
rs500	RS500	2013年 08月28日	ダウンロード
select	select1	2012年 06月27日	ダウンロード
svg	svg	2013年 03月05日	ダウンロード
test1	test1	2013年 03月20日	ダウンロード
test2	test2	2013年 03月12日	ダウンロード
test3	test3	2013年 08月28日	ダウンロード
test4	test4	2013年 03月12日	ダウンロード
test5	test5	2013年 03月12日	ダウンロード
test7	test7	2013年 03月12日	ダウンロード
test_test1	test1	2013年 09月02日	ダウンロード
testraster	testraster	2013年 03月20日	ダウンロード
testuser	testuser	2013年 03月20日	ダウンロード
user1	user1	2013年 09月02日	ダウンロード
user10	user10	2013年 03月21日	ダウンロード

ログインユーザが取得できるマップ情報を全てダウンロードします。

マップ情報をダウンロードします。

4.33 プレビュー一覧画面

運用gサーバー

マッププレビュー一覧

先頭 < 前へ 次へ > 最後 1-30 / 66件

タイプ	地図ID ▲▼	タイトル ▲▼	更新日 ▲▼
vector	wmstest	wmstest1aaaa	2010年 06月30日
wcs	wcstest	wcstest	2011年
wcs	w	w1	
vector	vecmap	vecMap	
user	user3	ユーザテスト3	2011年 02月14日
user	user2	ユーザテスト2	2011年 02月14日
user	user1	ユーザテスト1	2011年 02月14日
wcs	testwcs	testwcs	2010年 11月11日
raster	teststras	teststras	2010年 11月17日
vector	test9	test9	2011年 02月16日
vector	test8	test8	2010年 11月16日
vector	test7	test7	2010年 06月30日
vector	test51	test51	2010年 11月18日
vector	test50	test50	2010年 06月30日
vector	test5	test5	2010年 06月30日
vector	test49	test49	2010年 01月24日
vector	test48	test48	2010年 06月30日
vector	test47	test47	2010年 06月30日
vector	test46	test46	2010年 06月30日
vector	test45	test45	2010年 06月30日
vector	test44	test44	2010年 06月30日
vector	test43	test43	2010年 06月30日
vector	test42	test42	2010年 06月30日
vector	test41	test41	2010年 06月30日
vector	test40	test40	2010年 06月30日
vector	test4	test4	2010年 06月30日
vector	test39	test39	2010年 06月30日
vector	test38	test38	2010年 06月30日
vector	test37	test37	2010年 06月30日

プレビュー一覧の並び順を変更します。

マップのプレビュー画面を表示します。

1) プレビュー画面

表示しているプレビューのタイトルです。

test11

登録地図

- line_sample1
- line_sample3
- line_sample4
- line_sample5
- line_sample6
- point_sample1
- point_sample2
- point_sample3
- polygon_sample1
- polygon_sample2
- polygon_sample3
- polygon_sample4
- polygon_sample5
- polygon_sample6
- polygon_sample7
- polygon_sample8

背景地図

- 数値地図25000
- Geospace
- Geospace 航空写真

マップの移動、縮尺の変更を行います。

レイヤーの一覧と凡例が表示されます。表示、非表示の設定を行います。

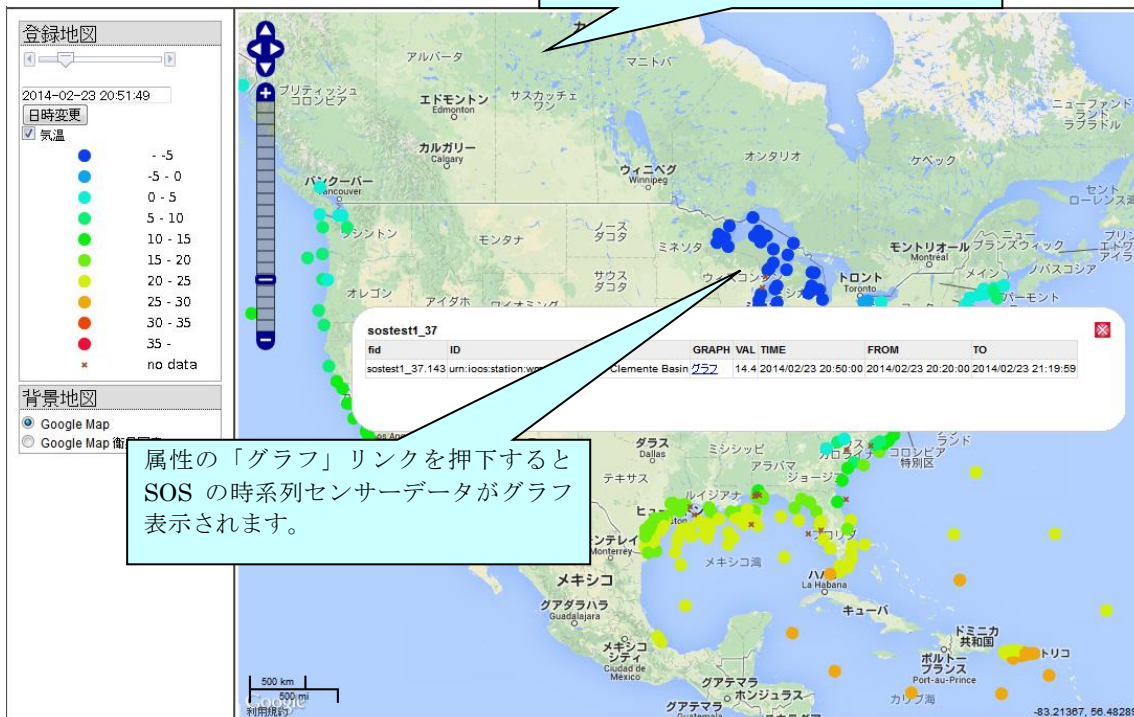
地図が表示されます。

背景地図を選択します。

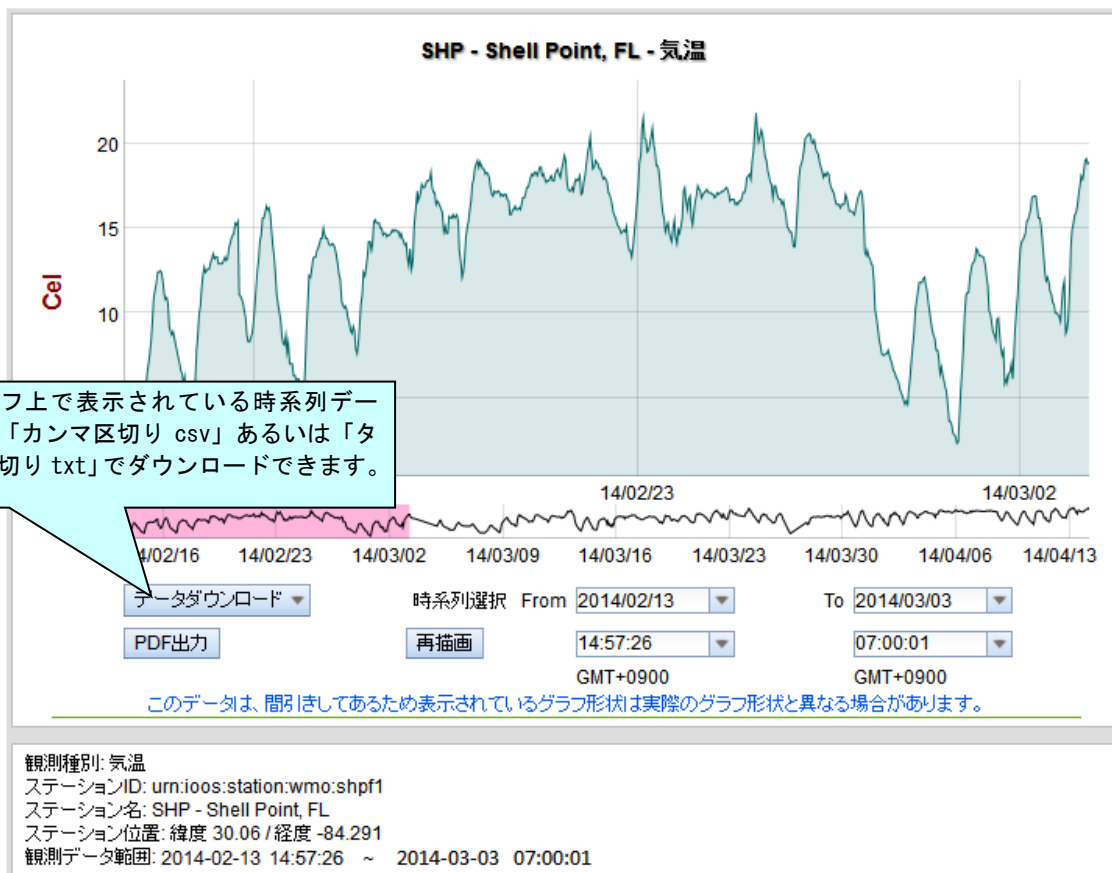
10 m / 50 ft

139.46308, 35.71333

SOS マッププレビュー画面



属性の「グラフ」リンクを押下すると SOS の時系列センサーデータがグラフ表示されます。



観測種別: 気温
 ステーションID: urn:iocos.station:wmo:shpf1
 ステーション名: SHP - Shell Point, FL
 ステーション位置: 緯度 30.06 / 経度 -84.291
 観測データ範囲: 2014-02-13 14:57:26 ~ 2014-03-03 07:00:01

5 ファイル仕様

5.1 ベクトル形式データレイヤー情報ファイル

ベクトル形式のデータを GeoServer で描画するための設定ファイルであり、ファイル作成後 GeoServer に登録時に作成され、相互運用が可能になる。

5.2 ラスター形式データ設定ファイル仕様

ラスター形式の複数解像度のレイヤーを管理するための情報であり、MapServer 用の Map ファイルとして生成される。

ラスター形式のデータのリクエスト時に、WMS リクエスト URL に子のマップファイルを含めることで、ラスター形式のレイヤーの相互運用が可能になる。

5.3 ラスター画像データファイル仕様

「3.2 データアップロード機能」によってアップロードされた、画像データファイルと、そこから 1/2 ずつに縮小して作成した複数解像度画像で構成される。

ラスター形式データのレイヤーID のフォルダに、縮小率に応じた数値のフォルダ内に格納される。

5.4 ラスター画像位置情報データ仕様

「3.2 データアップロード機能」によって登録するラスター形式データの画像ファイルの位置情報を表すテキスト形式のファイル。

標準的なフォーマットであるワールドファイル形式が決められており、それに則った形式で記述する。

5.5 メッシュ形式データレイヤー情報ファイル

メッシュ形式のデータを GeoServer で描画するための設定ファイルであり、ファイル作成後 GeoServer に登録時に作成され、相互運用が可能になる。

5.6 KML データ仕様

三次元地理空間情報の表示を管理するために開発された、XML ベースのマークアップ言語、OGC の規格として取り入れられている。

5.7 SVG データ仕様

W3C でオープン標準として勧告され、XML で記述される。高品位のベクターグラフィックを描画することが出来る。

5.8 時系列データ仕様

ラスター画像と時系列情報を紐付けして登録することで、時系列データの配信が可能となる。

5.9 時系列情報データファイル仕様

ラスター画像の日時情報を表すテキスト形式のファイル。画像名称と ISO8601 形式で記述された日時順にタブ区切りで記述する。

5.10 SOS データ仕様

SOS(Sensor Observation Service)のセンサー観測値データと ISO-8601 で定められた協定世界時(UTC)時刻の後ろに Z を添えるフォーマットの時刻をデータベースに格納することで、ベクトル形式データレイヤーにおいて時系列描画が可能となる。

5.11 GetCapabilities リクエスト応答情報仕様

「3.2 データアップロード機能」で登録、編集した、ベクトル形式データの各レイヤーと属性の情報および、ラスター形式データの WMS レイヤー、メッシュ形式データの WMS レイヤーの情報を格納する。

ベクトル形式データは WMS,WFS、ラスター形式データは WMS,メッシュ形式データは WMS,WCS の Capabilities にレイヤー情報を格納する。

Capabilities が参照可能な URL を相互運用可能な GIS に設定することで、登録した地理情報の相互運用を可能にする。

5.12 メタデータファイル仕様

登録された地理情報のメタデータを記載した XML 形式のファイルである。

メタデータは以下の JMP2.0 仕様に準拠した形式で作成される。

JMP2.0 仕様の XML スキーマは、納品物一覧「JMP2.0 スキーマファイル」に該当するファイルを参照。

5.13 地図プレビュー画像ファイル仕様

登録された地理情報のメタデータの作成と同時に地図のプレビュー画像を生成しファイルに保存する。

プレビュー画像は、PNG 形式、横幅 512 ピクセル、縦 512 ピクセル以内の画像ファイルとして保存される。

このファイルの参照可能な URL が、メタデータ内の GraphicOverview 項目として格納される。

5.14 描画情報ファイル仕様

相互運用 g サーバ内で利用可能な形式の SLD ファイルは、UserLayer のみになっており、ハザード・リスク情報データベースサーバで使用可能なフォント、アップロードされたアイコンへのパスについての制限がある。

「3.2 データアップロード機能」で登録される SLD ファイルは、登録、編集時に自動的にこの形式に変換される。

6 データベース仕様

6.1 ベクトル形式データ格納 DB

登録されたベクトル形式のデータは、レイヤーID に対応した以下の PostGIS 形式のデータベースに格納する。

- ・ フューチャーテーブル

フューチャーテーブルには、ベクトルデータの形状と属性のデータを格納する。

- ・ フューチャー情報格納テーブル

フューチャー情報格納テーブルには、フューチャーテーブルの情報を保存する。

6.2 相互運用 g サーバ管理 DB

相互運用 g サーバ管理時に設定される情報の格納を行う。相互運用サーバのユーザ管理、マップ管理、レイヤー管理、メタデータ登録管理の情報を格納する。